

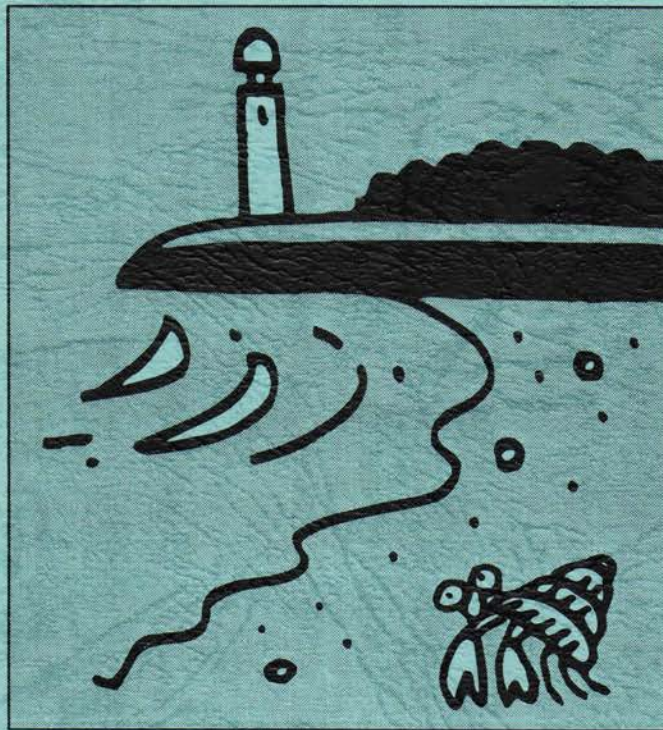
1997～1998

ロータリー青少年指導者養成セミナー

海のRYLA（ライラ）

報告書

空は青 海も青
我らは青春
海のライラで
リーダーシップを培育しよう



大阪府立青少年海洋センター
1998年5月3日（土）～5日（月）

国際ロータリー第2660地区青少年活動委員会
ホストクラブ



大阪大手前ロータリークラブ

ロータリーとは

◆ロータリーの誕生とその成長

今から92年前1905年、そのころ経済恐慌で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた青年弁護士ポール・P・ハリスが、3人の友人と語らって、2月23日、第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから、名付けられました。

このクラブは着実に成長し、現在157の国家に広められ、クラブ数28,736、会員総数は、1,213,748人に達しています。

◆日本のロータリー

我が国のロータリークラブは1920年（大正9）10月20日、初めて東京に創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして、加盟承認されました。現在ではクラブ数2,249、会員数130,600人（12月末）に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けております。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

ライラ（Rotary Youth Leadership Awards=R.Y.L.A）

「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と訳されています。地区内の若い人々とロータリアンを一緒に参加させるプロジェクトで、若い人々の指導者及び善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としています。

当地区では、各クラブの協力を得て、毎年春期に「海のライラ」、秋期に「山のライラ」を実施しています。

標語

空は青 海も青
我らは青春
海のライラで
リーダーシップを培育しよう

序論

四面海もて囲まれしわが国の歴史を繙（ひもと）けば、海に纏（まつ）わる物語の如何に多きことか。そう考うれば、われら日本民族は海とは縁の切れぬ国民（くにたみ）。

日本国中の海岸線を歩めば、至る所、白砂青松の絵画的な風景に今なお接することができ、磯打つ波の音にも心が踊る。白雲も白鳥も、紺碧の海の色に染まらずと言えども、海は空の色を映（うつ）し、空は海を抱きて永久の営みを続け、われらに生きる力を与えている。

海は地球にのみ存在している。海はわれら人類の母。海は万物の命を育んでいる存在。

その海と親しみその海から教えられ、その海から受けた命を燃やしわれら海の民は海の心と魂を受け継いで、次の世代の多くの若い命に伝えたい。伝えることこそわれらの使命。

海の命、万歳。若者の命に万歳。若者の未来の可能性に万歳。海に教えを乞い、海に親しむ若者のリーダーシップに万歳。海のライラ万歳。

国際ロータリー第2660地区

第2660地区	ガバナー	近藤雅臣	
	ガバナーノミニ	吉川謹司	
	地区代表幹事	井上暎夫	
	ローターアクト委員長	小西眞明	
	インターアクト委員長	朝倉良	
役 員	第2660地区青少年活動委員会		
	青少年奉仕部門		
	担 当	パストガバナー	松本良諄
	委 員 長		板垣美一
	副委員長		有賀一夫
	委 員		垣内康弘
	〃		三浦高行
	〃		西田恵心
	〃		中井敬和
	〃		本田和正
	〃		増成恒哉
	〃		大堀舜久
	〃		八木誠
記 念 講 演 者	冒険から学んだ自然のすばらしさ	(社)大阪南太平洋協会 理事長 松村賢治	
ホストクラブ	大阪大手前ロータリークラブ		
	会 長	佐藤良和	
	幹 事	今井宏一	
	実行委員長	服部昌美	

1997～1998年度 海の『ライラ』セミナープログラム

空は青 海も青 我らは青春
海のライラでリーダーシップを培育しよう

	第1日目 (5/3日)	第2日目 (5/4月)	第3日目 (5/5火)	備考
7:15	大阪大手前RC 第一陣集合	起床	起床 (室内片付け)	
8:00		朝食 (食堂)	朝食 (食堂)	
9:00		カッター活動	テーマ討議 グループタイム	
11:00	大阪大手前RC 全員集合	野外活動説明	昼食 (食堂)	
13:00		昼食 (食堂)		
13:30		野外活動		
14:00	受付	ビーチバレー	閉講式 かたづけ解散	
15:00	開講式 (40分)	バーベキュー用意		
	記念講演 「冒険から学んだ自然のすばらしさ」 (社) 大阪南太平洋協会 理事長 松村賢治	バーベキュー大会		
17:00	グループミーティング			
	グループ内で自己紹介			
18:00	夕食	後かたづけ		
19:00	グループゲーム 班旗製作			
20:00	班会議 (ディスカッション)	班会議 (ディスカッション)		
21:30	班リーダー会議	班リーダー会議		
22:30	消灯	消灯		

5月3日(土)

第一部

司会 曾我部 律 夫

開式点鐘 大阪大手前ロータリークラブ会長 佐藤 良 和
 国歌斉唱 「君が代」

ロータリーソング 「奉仕の理想」

開式の辞 大阪大手前ロータリークラブRYLA実行委員長 服部 昌 美

歓迎の辞 大阪大手前ロータリークラブ会長 佐藤 良 和

来賓の紹介と挨拶 地区青少年活動委員会委員長 板垣 美 一

挨拶 地区ガバナーノミニー 吉川 謹 司

青少年奉仕部門担当パストガバナー 松本 良 諄

大阪府立青少年海洋センター所長 片岡 弘 尚

地区ローターアクト委員長 小西 眞 明

閉式点鐘 大阪大手前ロータリークラブ会長 佐藤 良 和

第二部

司会 八木 誠

記念講演

演題

冒険から学んだ自然のすばらしさ

松村 賢 治

大阪大手前ロータリークラブ

ライラ実行委員長 代理 小林 君夫



皆さん今日は、今日から始まる海のライラのホストクラブをつとめます大阪大手前ロータリークラブの服部昌美実行委員長が急病のため欠席でございますので私、委員の小林君夫が、かわって開会のことばを申し述べます。

今回の海のライラ（即ちロータリー青少年指導者養成プログラム）に138名という大ぜいの若い皆さんがご参加頂いた事、ロータリアンの皆さんも多数ご支援下さっていることを、ホストクラブの大手前ロータリークラブの私たちは、とっても嬉しく心から感謝いたしております。

二泊三日という限られた期間ではございますが、どうぞあらゆる場面で、積極的に発言し、勇気をもって行動し、若者らしくチャレンジしてほしい。そして、又、他人のことも考え、他人の気持ちをくみとって言動してほしい。若者らしさを大いに発揮してほしい。青春の一ページとして思い出に残る、すばらしい三日間としてほしいと私たちは祈願するものです。

この三日間、私たちは、できるだけ口を出さず、手を出さず、皆さんの自主的な言動を見守りつつ、成果に期待することにしたいと思います。

ご参加の若々しくフレッシュな皆さん、どうぞ切角の三日間、思いきり楽しんで、精一杯体験し、学んでください。

以上

RI第2660地区

ガバナーノミニー 吉川 謹司



海のライラ インカミング・ガバナーの吉川でございます。本日は「海のライラ」に参りまして皆さんにご挨拶できることを心より喜んでおります。

近藤ガバナー、松本パストガバナー、本日の為にご準備頂きました、大阪大手前ロータリークラブ佐藤会長様、実行委員長の服部様、地区委員長の板垣様、大阪府立青少年海洋センターの所長様初め関係者の皆様、ご協力頂きました多数のロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げます。

「海のライラ」は、二泊三日という短い期間ではございますが、若い皆様方が素晴らしい自然と触れ合い、その大きさ、やさしさ、厳しさを学び、身体を鍛えられるとともに、共同生活の体験を通して、協調の精神を養い、友情の輪を育まれることを目的と致しております。その研修期間を通じて、皆様方が本年度のRIテーマであります「ショー・ロータリー・ケアーズ」(奉仕の心)への理解を深め、「他を思いやる心」にあふれた青少年の指導者となって頂くことを願っております。

我々が住む地域社会には、高齢の方々や、お体の不自由な方々、また、孤独や不安の中で、さまざまな苦しみや悲しみと戦っておられる方々が数多く居られます。それらの方々にロータリーの奉仕の心で、今日、皆様を包むこの自然のような大きさで、暖かい手を差し伸べ、忘れられがちな明るさや希望を取り戻していただく奉仕活動を一緒にしてまいりたいと思っております。それはまた、我々に大きな感動の波、希望の灯となって広がり、喜びとしてよみがえってくるでしょう。

この研修期間を通じての皆様方の惜しみない研鑽が、地域の善良な市民であり、これからの社会の指導者として活躍される第一歩となる事を切望致します。最後になりましたが、期間中の無事故と健康に十分気を付けられますよう、ここで過ごされた日々が人生の楽しい一ページになりますよう祈って、ご挨拶にかえさせていただきます。

地区青少年奉仕担当

パストガバナー 松本 良諄



ゴールデンウィークの貴重な時間を割いて、海のライラに参加された諸君に、心から敬意を表します。折角の機会ですから、楽しく、前向きに取り組んで、何らかの収穫を得て帰れるよう期待致します。

現在、わが国はあらゆる面で混迷をきわめており、21世紀に向けて清新なビジョンが待望されています。その根底に、私は夙に識者から指摘された「物に榮えて心に滅ぶ」のつけが回ってきて国民道徳の退廃があると考えます。中でも政、財界の不祥事や少年非行の続発は正に国の命運にも関わる大問題であります。

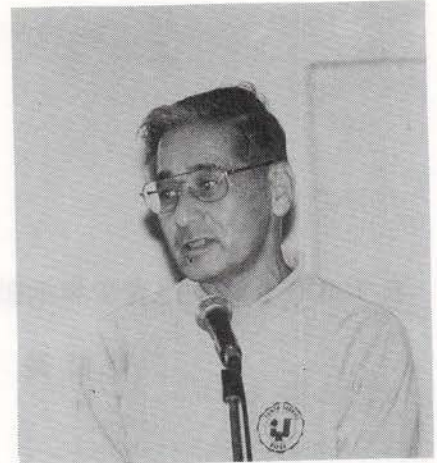
ライラはロータリー精神に基いて、標準的な若者に、同世代の青少年の指導者になって貰うためにリーダーシップの実地訓練を行うものであります。余暇を健全に活用して「よく学び よく遊ぶ」事を知らない多くの青少年に、スポーツやボランティアの良さ楽しさを教えるには、彼等と同年代の若者の「相手の身になって考え、行動できる」或いは「彼等と痛みを分かち合える」心情（これこそがロータリーの基本です）に期待するからであります。

学校教育の偏重を見直して、家庭教育と社会教育の三者をバランス良く行うよう職場や地域社会における教育の重要性を再認識する意味でライラの一層の充実、活用は大事であります。ともあれ、今回の海のライラが実りあるものになることを祈願するものであります。

最後に、海洋センターの方、並びにホストの大手前ロータリークラブの皆さんのお世話に対して心より厚くお礼申し上げます。

大阪府立青少年海洋センター

所長 片岡 弘尚



みなさん今日は、海洋センターによくいらっしゃいました、職員一同心から歓迎いたします。

海洋センターは、青少年が海に親しみ、海での活動や人との交わりの中での様々な体験を通して、夢を育み、健やかに成長することを願って、大阪府が昭和50年に開設いたしました。

ここには、年間5万人、開設以来百数十万人の青少年たちに利用いただきましたが、皆様方にも、海のプログラムや人々との交わりのなかで素晴らしい体験を是非していただきたいと思っております。

話は変わりますが、青少年の非行は、戦後第4のピークを迎えているといわれており、特に「いきなり型」の非行が増え、大変心配されています。青少年の健全育成をすすめていくためには、皆さんのような若い人の力が必要です。無関心型の多い今の世の中、このセミナーに参加された皆様方に対し、大変心強く思うと同時に、大いに期待をいたしております。

このセミナーでは、記念講演をはじめとして、カッターやビーチバレー、ディスカッション等のプログラムが計画されていますが、青少年指導者として、先ず自らがこの活動の素晴らしさを体験することが大切だと思いますので、積極的に活動に参加され、ロータリアンや仲間たちとともに汗を流し、大いに語り合っている体験をしていただきたいと思えます。そして、「自己再発見」の機会になればと思えます。

今回は、海洋センターといたしましては、小島主幹を窓口として皆様方の活動のお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。大いに楽しんでください。

R I 2 6 6 0 地区青少年活動委員会

委員長 板垣 美一



皆さん今日は！！ようこそ、この海のライラに参加していただきました。この様に多勢の青年男女の諸君を迎えライラを開催出来ますことは第2660地区青少年活動委員長として大変嬉しく思い歓迎いたします。

さて、このライラも早や22周年を迎え今や日本各地のロータリークラブが同じようなライラを実施しています。大半が山間でのキャンプであり、ここに大阪府立青少年海洋センターをお借りして行われるこのライラは全国的にもユニークなライラです。

日頃、仕事や学業に追われ自己を見つめる事が少ない近頃だと思いますので、この機会に思い切り自己主張して下さい。

もうすでに“RYLA”とはを御存知だと思いますがRotary Youth Leadership Awardsの略であります。ここで、Awardsは、一般的に授与する、審査して与える、賞を与える等と訳されています。ロータリーではAwardsを皆様青年に期待します。という意味を加味して使っています。ここの処をよく理解され、今回のホストである大阪大手前ロータリークラブが掲げたテーマ「空は青 海も青 我らは青春 海のライラでリーダーシップを培育しよう」のもと意義あるライラにして下さい。

最後になりましたが、この3日間お世話になります海洋センター所長片岡様はじめ職員の皆様、よろしく御指導お願いいたします。

そしてホストを務めていただきます大阪大手前ロータリークラブの会長佐藤様はじめメンバーの皆様よろしくお願いいたします。

大阪大手前ロータリークラブ

会長 佐藤 良和



平成10年5月3日、国際ロータリー第2660地区・青少年活動委員会主催の「海のライラ」に留学生を含め134名の若人と、多くのロータリアン諸兄がここ大阪府青少年海洋センターにお集まり下さいまして、開会できることに對しまして、心より感謝し、ご参集の皆様をご歓迎申し上げます。

朝、出かけます時には、篠突く雨が降っておりました。が、今は雨も上がり、洗われた新緑の葉が輝き、陽射しが戻ってきた海はエメラルド・グリーンに光り始め、空も碧く抜けようとしています。

ご参加下さった若い方々と、私たちロータリアンも二泊三日の活動を共にし「空は青海も青 我らは青春」をご一緒に味わいたいと念願しております。どうか活動を通して、新たな自己を発見し、多くの仲間との交流を深めて下さいますように、実行委員のメンバーと共にお願い申し上げます。

最後に、Alexander Graham Bellの次の詞をご紹介します、歓迎のあいさつと致します。

Leave the beaten track occasionally on divine to the woods,
you will be certain to find something that
you have never seen before.

〔訳〕 時には踏みならされた道から離れ、森の中に入ってみましょう。そこであなたは、今まで見たこともない、新しいものを、見出すことでしょう。きっと！

冒険から学んだ自然の美しさ

プロフィール

- 昭和17年 広島市生まれ
- 42年 大阪大学大学院建築工学士修士課程修了
- 同 (株)竹中工務店大阪本社設計部入社
- 49年 同社を退社して、ヨットによる世界周航の旅に出る
- 51年 帰国後松村・佐藤建築研究所を開設
- 56年 社団法人大阪南太平洋協会を設立 理事長就任
- 61年 オートバイによるパプア・ニューギニア縦断
1,500キロアドベンチャー企画者隊長として参加
- 62年 (株)松村建築研究所代表取締役として現在に至る
- 平成元年 高知県呉市町村診断アドバイザーに就任
- 3年 広島県高野町地域振興アドバイザーに就任



(社)大阪南太平洋協会理事長
松村 賢治氏

13才の時から始まった私の冒険旅行。広島から下関まで240kmを自転車で18時間かけて漕ぎきった冒険、オートバイで日本一周、47都道府県にわだちを跡した冒険、ヨットでの世界一周、オートバイでのパプア・ニューギニア1,500キロの縦断の冒険、これらの冒険旅行で考えさせられた事は、「豊かな人生とは何か?」と言う事であった。

「人間の幸福は、経済的豊かさや文明の便利さとは無関係…」これが私の得た確信である。

パプア・ニューギニアでは、子供達の目を見て幸福であるという事を、痛感させられた。自然の触れ合いを大切に、物に感謝するという心を備えている。

青少年教育を考えた時に思う事は、彼らに自然の中で生活していける能力を持たせ、エネルギーを使わずに小さなコストで生活できるやり方を教えてあげなければならないと思う。又豊かになるという意味も教える必要があると考える。ボランティア活動に於いても、アウトドアスポーツの能力を発揮し、強制してやるのではなく、楽しくやらなければならないものである。又、楽しいものである。

これからも遊びを切り口とした人づくり、町づくり、豊かさの実感社会を創って行きたい。

『講演』

皆さま こんにちは。本日は元気いっばいの皆さま方にお話しできる事をうれしく思っています。

私は昭和17年に広島で生まれ、15才と25才の息子を持つ父親でもあります。しかし、現在も冒険好きであり、それらのささやかな体験を誇りに思っております。

私の本職は建築関係で設計事務所を大阪に持って来て、住まいは地震後広島に移りました。又(社)大阪南太平洋協会の理事長を務めており、民間社交にも力を入れております。33才の時にヨットで世界一周をした体験から、国際交流は国と国ではなしに個人対個人、地域対地域がいかに重要であるかを大阪府に17年間も訴え続けています。本職の設計では東大阪市におきまして、老人福祉として特に元気のよい老人達の為の福祉ハウスを設計建設中であり、

特徴はそこに住む人には小さな5㎡程の農園が各自に付いていることです。それなりに農作物を収穫出来るようになっております。同時に幼児を預かる保育園が併設されておきまして、老人と幼児が共にふれあいのある環境です。

さて、冒険の話になりますが、冒険とは私にとりましては、あくまでも自然を通じての遊びであります。勿論、道具は使います。スキー、バイクでのモトクロス等は私の息子達も6才の頃から始めて、今では私は彼等に歯が立ちませんが、私は13才の時に広島から下関まで240キロを氷を運ぶ時に使うあの後輪のタイヤの厚い自転車で、小便と食事以外はノンストップで走行しました。そして23才の時には前後2回に分けて、オートバイで47都道府県を全て廻る日本一周の旅を実現しました。

これらは常に人と人とのふれ合いや、自然とのふれ合いを目的としたものですが、暑い夏には暑い南日本を、寒い冬には寒い北日本をと悪条件を選んでの旅にしました。

北海道ではマイナス13度の中、湖中やトンネル、特にトンネルではツララが上から下までつらなってしまうっており、道を塞いでしまっていて通れません。8時間バイクで走っても誰一人、人にも車にも出合わない所でしたので手伝ってもらう人もなく、寒さの中、学生時代の山岳部の経験を生かして自力で道をつくったものでした。

又、33才の時には（私は不思議にも3と云う歳になると冒険をしてきた結果になっています。）ヨットでの世界一周をはたしました。

そして、43才の時にはパプア、ニューギニアを選んでオートバイで1500キロの縦断をいたしました。これは私が隊長になりまして33名の隊員を編成しまして、その中には女性が4人おりまして、若い方は18才、上が32才のそれ程、旅の経験のない方達でした。この島はサツマイモのような形をしていて、西半分はインドネシアであり、東半分の内、上の方がパプア、下半分がニューギニアです。この1500キロと云うのは全部が舗装された道はほんの少力で、殆どが道らしい道はありません。33台のオートバイが一行になって走る時には4キロぐらいの距離が出来ます。

パプアニューギニアの最初のドキュメント放送に取り上げられましたが、この島の背骨にあたる部分のオモスレイ山脈は標高4500メートルはあり常に雪でおおわれています。我々はその山脈の2600メートル位の高さの峠を越さなければなりません。実に寒い中です。その上道がなく雨や水に流されて谷間になっている部分を探して進んでゆく。又、道巾は60cmは最低必要です。各集落の人々が総出で道をつくってくれます。戦争中日本軍もこの道を突き進んで行軍したそうしたそうですが勿論、現地の住民の手助けや応援もありません。この為1万5千人の兵士が亡くなったと伝えられています。それでも我々も4台のバイクが破損して、疲労や病気で完走出来ましたのは33名中、17名でありました。

幸い、命を落した者はいませんでした。が極限状態に耐えられずギブアップした者が続出したからです。あとから考えてみますと体力が抜群であっても何故こんな苦しみに合わなければならぬのだろと消極的に

考えてしまう人は気が落ちこんでしまいません。反対に弱い体力の女性であっても自分からこの苦しみを望んで参加したのだから、何のこれ位いと気力をみなぎらせている方、前向きに、希望を持っている方は全員完走出来ました。三名で一組のチームで行動してもらったのですが、気力も体力もあるリーダーならば全員を引っ張ってゆけるが、体力がなかっても全員が力を合わせて気力のあるチームの方がはるかに強い忍耐力が発揮される事も発見しました。

さて、次に53才の時ですが、即ち今から2年前になりますが、陸、海と冒険してきた私に、空に目を向ける動機が生まれました。

それはスイスのアルペンでの早朝です、74才と64才の老夫婦が何やら大きなリュックを背負って山頂へ向かっていますので近づいてたずねてみますと、これからパラグライダーで下山すると云う。40分ぐらいで降下出来るらしくたまに風に上手に乗った時にはゆったりと二人して2時間半も空中で楽しみながら目的地に着陸するのだと云う、それを聞いて私は感動してしまい「今度は空だ」と決心しました。

日本に帰ると早速、友人を介して、専門家に教を請いました。今では指導員の資格に近づきつつあります。それに加えて教えてもらったのが、自分で組立てもできる超小型飛行機「ウルトラライト」です。飛行機の操縦を習ってそらを飛ぶことです。

この操縦は免許証は不要で認定書があれば飛べます、アメリカでは流行っており野性の鳥のガンを救うために、その群れの上空すれすれを飛んで親代わりになって、安全な場所へ、群れを連れていくのにも使われているそうです。

私はこのウルトラライト（2人乗り）を操縦してモンゴルの平原150キロを高度500～700メートルで飛ぶ機会がありまして、その素晴らしさに感動して、地元モンゴルの子供達に自分の住む国を上空から見せてやればどんなに感激するだろうかと思い、仲間達と編隊を組んで、隣りの席に子供達を乗せて飛行する許可を申請してOKが出たので、さあ出発だ。と、なった時に、あの阪神大地震がおきてしまいました。当日、私は大阪の事務所に泊っていた為に運良く助かりましたが西宮のマンションが全壊してしまいました。使っていなかったバイクを何とか修理して大阪から20キロ余りの西宮まで何と8時間もかかって到着

しました。

その時から何もかも放ったらかしてボランティア活動に入りました。ボランティア基地に泊り込んで、全国から集まってきてくれた若い皆様と同じような歳の青年男女と一緒に、いろんな人助けに打ち込みました。特に、真冬ですから夜は寒く、年寄りやテントの中で火もなく、暖房もなくふるえているのを見まして、小学校の砂場へ行って太陽で熱くなっている砂を鉄板でやいて、何枚も下着を重ねて包みこんで、砂袋をつくり(160個)、コタツ代わりに使ってもらい、翌日は又、その砂袋を持って来てくれる。そのうれしそうな顔、顔…、夜にはボランティアの若者たちと「元気村」でたき火を囲んで語り、キャンプの経験など一度も体験した事のない東北のお嬢さんも、一週間もすればベテランのボランティアに生まれ変わります。

地震も一段落したのに、まだ何か人助けをしたいと希望している若者がいたので、私の住む広島熊が出るとなると片田舎「カケ町」に、老夫婦が病気になって畑仕事が出来なくなり、困っておられたのを知って紹介すると、喜んで畑仕事をしています。

そのほかに竜谷大学の学生5名が、米づくりの農家をまかされて、休みには、作業にやって来て私の家に寝泊りしている者もいます。ボランティアで単位がもらえるそうで、農協との契約で収穫の半分は彼等にももらえるという事で大いに喜んでいます。

私は考えますに、このような農家はどこにでも今の日本にはあるようで効率ばかりの農作業ではなく広く若者に先づ遊びながら入る切り口もあるのではないかと思います。そうなれば日本国民皆農業、農的生活者になれると思います。

さて、53才での空の話が地震の為に横道にそれてしまいましたが、私は63才で本格的なカヌーでの川下り、73才でアラスカの冒険、83才では、93才ではと、年齢に応じた冒険への夢が、次ぎつぎと浮かんでまいります。本職の仕事しながらの冒険、自然との付き合いは、何才になっても出来る事です。

私はこれから広島に帰り、明日から地元の太田川(浅い流れの川)で上流から4隻のゴムボートと、4そうのカヌーで子供から老人までの参加者と川下りをする事になっています。その中には身障者も入っておりますが自分の責任で参加してもらっています。

自然には、予想も出来ない危険性が常にはらんでおり、油断は決して出来ませんが家にいて、生命を簡単に落すこともあります。ある方なんかは、自分の居間の電球を取り替えようとお膳の上に乗ったとたん引っくり返って、火鉢の角に頭を打って死んでしまったと云う事です。危険はどこにあるかわかりません。これも運命と云えばそれ迄でしょうか…。

私も、ヨットでクジラと衝突した事もありました。あれで命を落としても責任は自分自信にあり、どこにも訴えるわけにはいきません。

責任について考えてみますと、日本では事故が起きた時、誰が責任を取るのかと云う問題ばかりが強調されて、物事がなかなか進まないことがあります。特に戦後50年の間に国民は行政に責任を押しつけてきた為に行政側も何とか責任を回避する為に知恵をしぼって莫大な行政コスト(予算)をかけています。例えば、北欧のヨットで通った運河には、垣根もフェンスもありません。子供が誤って落ちる時もありますが150mおきに3mの高さの棒と、浮き輪と、縄が置いてあります。万一落ちたとしてもどっちなか75m走れば子供を助け上げる用意がしてあります。日本の場合は絶対に落ちないようにフェンスが1.5~1.8mの高さで張りめぐらせてあります。もし、破損している所から子供が入って、落ちたりすれば大変です。住民は行政に対して承知しません、どっちの国の方がお金がかかるのでしょうか?。危険防止に関して、国民の考え方が全く違っています。外国から見ると日本は余りに異常過ぎるのではないかと思います。

広島私の住む町「カケ町」では、人口5千人で53億円の年間予算を組んでいます。マイクロネシアのマジロと云う町は、人口1万人で年間2億円弱しか使いません。100倍の違いがあります。それでは100倍の幸せが日本ではあるのでしょうか、あちらの子供は、どの子も目が生き生きと輝いています。

さて、今回のテーマは海のライラです。海をテーマとしてヨットの経験を話し致しましょう。

今から22年前の話になります。(当時33才)私は、勤めていた建設会社を独立の為に退職しまして家庭は待っているし、お金もありませんでしたが、新しい仕事に入る前に、どうしても世界各地を実際に自分の眼で見て、勉強しておきたかったわ

けです。

例えば、昔海賊がかくれているような無人島に今では人が住んでいる場合、一週間もその島に滞在すればすべてがわかります。その土地にある石や材木を使って家をつくり、上水、下水はどうしているか、危険防止の管理は？、食料は？、福祉は？と見聞出来ます。

私は、ヨットのスタート国を、福祉の国と呼ばれていたデンマークに決めました。そこで、中古の小さなヨット（3.5トン、9mと3m）を安く購入しました。運河や川をヨットで進めながらチャート（地図）や、コンパス等必要な物を買って求めていきます。パリのセーヌ川をヨットで通る為に資料をもらいに市当局へ行きますと、そんな所をヨットで進めるのかと不思議がられたり、オランダの運河からヨーロッパを北から南のマルセイユに横断をする迄78日間かかりました。その距離は、約2000キロで日本では稚内から鹿児島までの距離に相当します。勿論、小さなヨットでも船尾には日本の日の丸の旗、左舷には、通過してしている国旗をはためかせています。国の入出国も大きな船と同様、国際法に準じて係官がやってまいります。私の友人のヨットマン堀江氏は、ノンストップ世界一周の場合は入出国不要です。私の航路はオランダの運河からライン河へ、コプレー河、モーゼル、ローヌ河そしてリヨンを経てマルセイユ、そして地中海に入ってジブラルタル海峡を通過してカナリヤ諸島へと各地寄港しながら入ってきました。この辺りで大きな事件にぶつかりました。それは、全く風がなくなってしまうからです。結局、4日間、全く無風状態が続きまして、ヨットをゆらして波をおこす位いで、海面は水たまりが干からびた様な状態です。昨日、海上に投げ捨てたタマネギの皮が、翌日にはまだ同じ海面にそのまま浮いています。

24時間に24m動いた事がわかり計算してみますと、日本に到着するのに186年もかかる事が分かってガクゼンとなりました。風がなくなれば耳に入る音も全くなく静けさを通りこして海の恐ろしさを実感いたしました。

夜になると海面が鏡となり空（上）と下に一つの星が二つになります。水平線上では上の星か下の星か全く見分けが付きません。オリオン座を海上で見られます。又、不思議に思ったのは一つの星が次ぎ次ぎに、色々な色の輝きに変化してゆく事です。5日目にやっと風がふきはじめて助かりました。

チャートとコンパスで計測（天則）しながら自分の位置が正しいかどうか、確かめながら航行します。そろそろこの辺りで島が見えてくるはずだと思って、たどり着いた島が、目的の「バルバトス島」であったと知り、その喜びも大きなものでした。特に小さなヨットだけに目の高さは海面から2m足らずであるから、危険な場所に近づけば真剣そのものになります。もし座礁すれば命はありません。危険回避能力がこのような実践で養われてゆきます。

最後に国際人たる条件を申し上げます。先づ、第一にどんな所でも寝られる人。次に、どこでも生きていける人にならなければなりません。

私の外国の知人で、ヨット工場で仕事をしている夫婦ですが（35才位）、その人の別荘へ招待されて行ってみると、そこは電気も水道もありません。風呂も自分達で水をくんできてマキでわかします。その人の説明では自分達の子供の頃はこれと同じ条件の中で生活してきたのだから、子供達にもこのような中でも生活を立派にしてゆけるのだ、と身をもって体験させているのだと…。そこ迄考えて子供達に教育している親が日本にはいるのでしょうか

文明だけが人間を幸福にするものではありません、出来る限りの生活コストを下げてもムダをなくし且つ、豊かな生活が出来る、その為には、自然の中で自然と共に暮らし遊びながらいろんな能力を身につけてゆく事です。「陸・海・空」すべて自然と仲よくしましょう。

最後まで真剣にご静聴下さいましてありがとうございました。

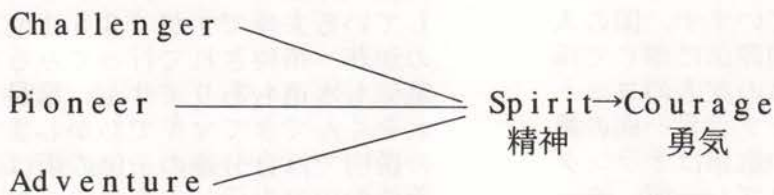
文体・文責 大橋鉄二
(テープより収録)

5月3日 AM 9:00

テーマ『勇 気』

- 標 語 空は青、海も青、我らは青春、海のライラでリーダーシップを培育しよう。
 - 序 論 末節より 若者の未来の可能性に万歳、海に教えを乞い、海に親しむ若者のリーダーシップに万歳、海のライラ万歳。
 - 記念講演 冒険から学んだ自然の美しさ 松村賢二様
 - カッター活動
 - ビーチバレー活動
- 初めての経験であり、団体競技、チームプレー
(若者らしくチャレンジ参加)

・以上の経緯よりその底流にある理念は



☆最近の青少年の犯罪を防ぐ為にもその責任を社会、学校、家庭に追及するばかりではなく、自分たちで積極的に解決していくための若者達の、リーダーに求められるものは勇気ではないだろうか？

☆未経験の分野に挑戦したり、未開発の分野を開拓してく若者にとって一番必要な事は信念であり「勇気」ではないだろうか？

☆和して同ぜず・・・団体の中にあって強調和合する事は大事だが自己の持つ主体性を失わないこと、これもまた勇気を必要とする事ではないだろうか？

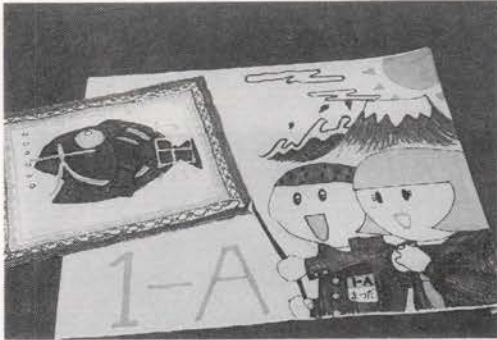
☆青春とは、良き社会人として一人一人が良き人生を生きるため、自身を研鑽し、形成してゆく過程そのものだ。迷い、悩み等種々の問題に対面して、意志決定するあるいは行動するこれ等も勇気に裏付けられたものではないだろうか？

そこでリーダーシップを培育するための

「勇 気」を

本「海のライラ」の底流にある理念と致します。

1-A



今回のテーマが勇気ということで、実際私たちが、勇気をだして決断をした体験談をもとに話し合った結果、勇気にはふたとおりの勇気があることに気付きました。

例をあげると

- ・ Aさんの場合彼女は3年前初めて就職した会社を辞めました。辞める時はもちろん勇気がいりました。なぜなら比較的大きな会社で安定していたし親のすすめた職種でもあり親の期待を裏切ったからです。特に次に自分のやりたい事が決まっていた訳でもなく自分の想いに確信があった訳でもありませんが彼女は彼女の決断で仕事を辞めました。
- ・ B君の場合彼は留年決定をきっかけに学校を辞めてずっとやりたいと思っていた別の道へ進みたいと両親に相談しました。しかし両親は大反対で何日も話し合いの場をもったそうです。安定した今をすてて自分のやりたい道を選ぶことは大変な勇気でした。ところが彼は学校卒業を決意しました。それは決して親のいいなりになった訳でもなく彼が自分で考え納得のした結論でありそれは又、別の勇気でもあったのです。

自分の思ったとおりの道を進むのも勇気ですが、彼のようにまわりの意見や気持ちを考えて決める道を進むのも又別の勇気なのです。自分の思うように生きられる人はわずかですが、どちらにせよ結局決断したのは自分なのだからその責任は自分でとるべきなのです。決断の訳を

誰かのせいにして後悔したり、ウジウジ迷ってどちらにも進めない中途半端な行動は決して勇気があるとは思えないのです。自分の決めた道を自信をもって貫く事が勇気だと思います。

今後私たちにも様々な勇気のいる場面が出てくると思いますが、今回の勇気についてのディスカッションを通して学んだ事をかてにして、勇気をもって行動したいと思います。

1-B



「テーマ」

- ・ 海外から見た日本の習慣
- ・ デートは割勘がいいか?
- ・ 見合い結婚と恋愛結婚どちらがいいか? メリット&デメリット
- ・ 共稼ぎについて (女は結婚したら家庭に入るべきか?)

班ミーティング提出用レポート

テーマ「勇気」～course～

勇気とは「行動の源」とであると定義します。

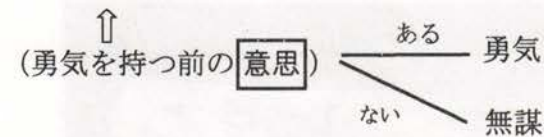
1. 未知の現状に身を置こう、置くとき、置いた後
 - 置く前：今までの通り慣れた道から、外れて、少しわき道にそれてみるあるいは全く違った道を歩んでみる。一步をふみ出そうとする時。
 - 置いている最中：それは無謀とか若者のいたりでなく結果を想定し自分で意思決定し行動しているので勇気が要る。

置いた後：人と違っていても不安に感じず
且つ、違うという事だけで満足しない。
未知の現状が理解出来、その結果自
分自信にかえてくるもの。

2. 夢をあきらめないこと

子供の頃から抱いていた夢も成長し
てゆくにつれ、現実の壁や例えば時間的
余裕、経済的余裕、世間体、自分のいる
状況を眺めてみると時に見失うことがあ
るかもしれないがその夢に一步でも近づ
くように思い続け、行動すれば後悔する
ことはないし現実にもなり得る。

3. 自分の意見を持ちそれに対して責任を持 ち筋を通す。



- ・ 大多数の意見の中で、自分の考えを述べ
る勇氣
- ・ 大反対の意見を受け入れる勇氣

頭ごなしに否定しない

自分の誤りを認める勇氣

自分の意見を貫く勇氣又、その結果、孤
立したとしてもそれを孤立と思わず

4. 日常生活の一瞬一瞬にも勇氣が必要であ る。

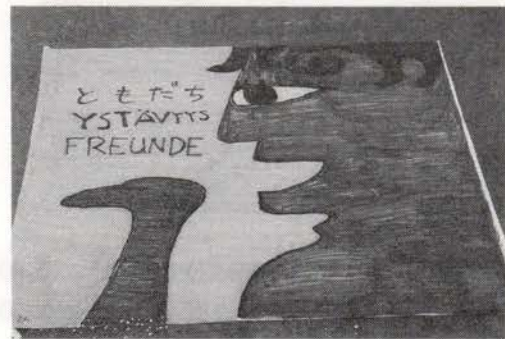
- ・ 人に話しかける勇氣
(知らない人に対して話しかける時。相
手と違う意見を述べる時。または、相手
の非をあえて指摘する時。)
- ・ 席を譲る勇氣
- ・ 「眠たい」自分に負けないで起きようと
する勇氣
- ・ 自分の気分を左右されず、人に接してい
く勇氣
- ・ 人の嫌がることを前向きにとらえ行動す
る勇氣

5. TO LIE TO PEOPLE, TO TELL THE TRUTH

対人関係にあたる人に、何の理由があ
るにせよ、うそをつく時。

またそのうそをついてしまった時に対し
真実を話す時にいる勇氣。

2 - A



勇氣とはなかなかはっきりした答えがで
ないもの。

でも、毎日何をするにも、いくつもの選択
肢があって無意識的、意欲的に勇氣を出し
て道を選んでいるのかもしれない。一人一
人考え方、価値観がちがうので何を勇氣と
評価するのかちがう。

しかし一つだけ共通するのは自分を信じて、
また相手も信じるとのことだと思ふ。(氣
持ち)

勇氣とは型に出ず出さないにかかわらず、
自分なりに考える事だと思ふ。

それが正か負かわからないが行動を起こ
す前にきちんと考える事だと思ふ。

良い事、人の為になる事をするのも
悪い事をするのも、
だまって見過ごすことも、

すべて考えて行動する事が**勇氣**だと思ふ。

2-B



RYLA「討議テーマ勇気とは」

私共2-Bは、2回目のディスカッションで「勇気」というテーマについて、討議発表をすると聞き、あえてその場で意見を出し話し合わずに、宿題として「ライラと勇気」という題を個人で10項目考えて、それを当日まとめ、発表することにしました。

主旨として、その場で話し合ったとしても2~3人の意見で全て決まってしまうと思い、個人における自主性を尊重する為、考えて、当日の班会議で発表そして意見をまとめ、全員の意見をもとに作りあげました

今回ロータリアンの方々が常においっしやておりました「あなた方の自主制で全て行って下さい」という方針のもと私達2Bは もちろん、参加者みんなののびのび行動出来たと思います。それが最後の行事、討議発表準備で、2-Bはとてまあわられていました。

2-Bの皆さんで意見をまとめた声を
1位から5位でまとめました

1位、初対面の人と話す勇気

(班の人、部屋の人、外国人の人、ロータリーの人、世代がちがう人)

2位、他人の事を考えて行動する勇気

(人に注意する)

3位、自分の意見を言う勇気

(はたをつくる、ディスカッション)

4位、カッターで声をかけあう勇気

(バレーボールなどで声をかけあって戦う勇気)

5位、自分でゴミを出せない勇気 (ゴミ拾いをやって学んだ事)

以上のような結果になりました最後に皆んなで意見をまとめると2-Bでよかったという事です。

このような機会を与えて下さったロータリーの方々に感謝します。

3-A



「勇気とはなにか？」

今回「勇気とは何か」ということについてグループで考えたところ、勇気とは

- 1.自分の弱い気持ちに自分が勝つこと。
- 2.正しいことは正しい、悪いことは悪いと認識してそれを自分の外に出すと。
- 3.一歩踏み出すことが大切でこれが簡単のようで実は、1番難しい。
ということが出てきました。

私達の班は留学生が2人いますので、彼らを例にとって未知の世界(日本)への一歩までと図式してみました。

第一ステップ

(未知への世界への探求)とし、2人が日本へ来ようとしたきっかけは

- ・学校での日本の歴史の勉強
(明治時代 以降)を通して

・日本人の留学生の友人の話しを通して日本の文化とことばを学びたいと思ったからです。これを実現する為に、下準備として先生について、マンツーマンで勉強したり、本を読んだりしたことです。

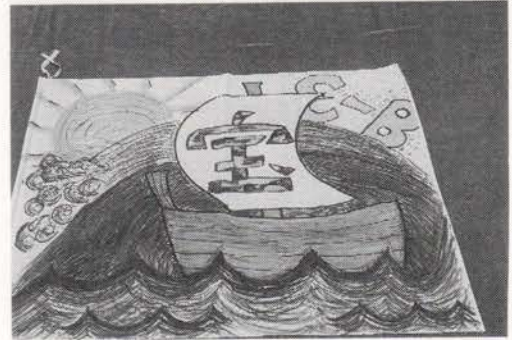
未知の世界への探究

葛藤 行勇
= 選択 動気

彼らは、きっかけから準備の間に葛藤はなくすぐに行動に移っていったそうです。私達、日本人は、つつまわりの環境を気にしすぎたりして、いいとはわかっていることであっても、なかなか行動に移せません。それが今あるいじめの問題がなかなか解決されない原因ではないでしょうか？ 考えたらそく実行にうつす勇気が一番大切だと思います。

今回2日目の話し合いを通して、勇気のことを見直すことができ、とても充実していたと思います。これからの学生生活、会社生活で勇気を出して良いと思ったことは、そく実行していきたい思います。

3 - B



勇気とは

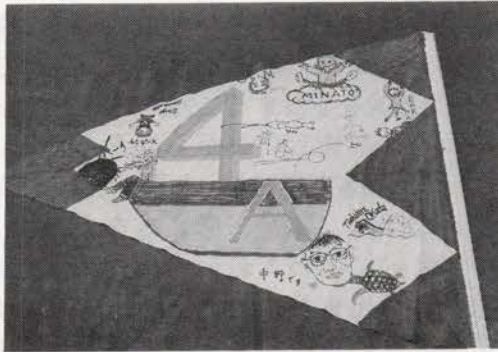
「勇気とは」という議題で話し合いを始めてまず始めにぶつかった問題が、「勇気」というものの定義づけの広さである。しかし、ここではあえて「どの勇気か」に限定させるのではなく皆が身近な所で感じた「勇気」について意見を出しあった。次のような場合があります。

ある家で火が発生しました。その状況はかなり困難を極めるもので足の不自由なA子さんが1人家に残されてしまいました。勇ましそうなBさんはそれを目にしてA子さんを救おうと試みました。反対に家の前には夫のCさんがいましたが世間的には冷ややかとも思えるような態度で燃えている家を見ているだけでした。しかし彼の一言冷淡とも見える態度には、救い出す可能性がないA子さんを無理して救おうとして自分まで命を落すことにより結果的には自分以外の人間により大きな損害を払うよりは現在ここで妻の死をたえて将来行りうる損害を最小限に食い止めることを彼は考えていたのです。

以上は「勇気」とは、目に見えるものだけでなく、目に見えない所にも存在するという事です。

つまり「勇気」とは、他人の意見に左右されず、目標に向かって少づつでも前進するための原動力である。

4 - A



「勇気」

私達4-A班は「勇気」に3つの結論を出しました。

- ・人が勇気と思うところは各々と違う
- ・勇気はポジティブな姿勢から生まれる
- ・勇気とは与えたり与えられたりできるもの

◎人が勇気と思うところは各々違う

ex.電車の中でひとに席を譲る事は当然の事と思う人もあり、それを、勇気のある行動と思う人もある。

◎勇気はポジティブな姿勢から生まれる。

ex.消極的な姿勢（考え方）の時に人は新しい事をしようとは思わない。
つまり肯定的（ポジティブ）な状況にある時に 挑戦=勇気を出す事になる

◎勇気とは与えたり、与えられたりできるもの。

ex.今回のライラ2泊3日では、初日班の顔合わせの時にはチーム全員がそれぞれバラバラでしたしかし、ビーチバレーの時には、手づくりのユニホームでゲームが出来る程、団結力のあるチームに変身していました。

この団結力はある1人のチームメイトが積極的に皆に語りかけてくれたことから始まりました。1人の勇気をもった行動は周りのチームメイトに勇気を与えそしてそこで与えられた勇気はまた次の勇気を与える機会をつくり、結果的にみんなが勇気を感じとり行動出来るようになりました。

勇気はみんなが持つ見えない巨大な力です。

→ 4-Aの考える「勇気」三段活用

④: 夢に向かって

③: うみだされる

②: 巨大なパワー

以上

グループミーティングtoday's感想

- ・旗作りが団結してきた。
- ・初対面なのにすごく打ちとけている。
- ・女性が元気
- ・ゴミ拾いをがんばる
- ・時間厳守
- ・みんなやさしくてうれしいです。
- ・旗作り、楽しくて男子がおとなしい。
- ・このチームはいい感じ。
- ・ビーチバレーがんばる。

今日の反省点

- ・ビーチバレーがんばれた
- ・みんな一生懸命楽しくできた
- ・ゴミ拾いががんばれた
- ・リーダーのリーダーシップがすごかった
- ・バレー負けてくやしかった

たけちゃんの話

明日の討議会のテーマ「勇気」

西本：未知への挑戦じゃないかな？

リーダー：失敗することも勇気。

中野：愛する人がいればこそ！

えれな：やる前は、勇気があるなんてわからなくてやっぱり勇気は後ろからついてくる。やっている時は気付かないんだよね。

橋：前置きとして、私はサラリーマンです。

だけど今回は会社から言われて来たんですが今回来て本当によかった。

実は仕事として来たんですが予想以上に得るものがあつた。平凡な生活を送っていますがこういうことは自分のちょっとした気持ちの持ちようでなんとでもなると思う。

みなと：えれなさんは、すごいと思う。率先して場を盛り上げようとすごい。はじめの一步を教えてくれる。

えれな：松村さんのように大きな勇気もあればちょっとした声のかけ合いなどもあると思う。

岡：僕は、もともと引っ込み自案なんです。やる過程で失敗することが怖いと思うことがある。ニュージーランドに行く時さんざん迷ったけど積極的に行動することによりたくさんのことを得た。

小：人によって違うからよくわからない。

はま：またあとで。

中村：人の顔色をうかがって話すことがある。

議：自分がとった勇気ある行動具体的な経験をもとに話そう。

先生：寝ている時にアドレナリンが出るんだぜ。体を休めましょう。

4 - B



勇気というテーマを与えられた。

勇気とは様々な解釈が可能な言葉であるが今回ここに来るといこと、その選択が一つの勇気を必要とする行為ではないだろうか。その各人の勇気の結果が今ここに述べる各自の意見である。

今回ここで学んだ事は今すぐプラスになるわけではないが将来必ず自分の人生にとってのこやしとなると思う。(8名)

日本という異国に来て様々な困難に出会いそして感じたことは、人は一人では何も出来ない。色々な人に助けてもらい周りの人の大切さがわかった。一度きりで終りにするのではなくせっかくの縁を大切にしていきたいと思う。(1名)

大勢の人間で一つの事に取り組むことで全く面識のなかった人間と共通の話題が持てるようになった。そして又、様々な職業を持つ人と実際に話しをすることで将来抱いていた偏見を少なすることができた(1名)

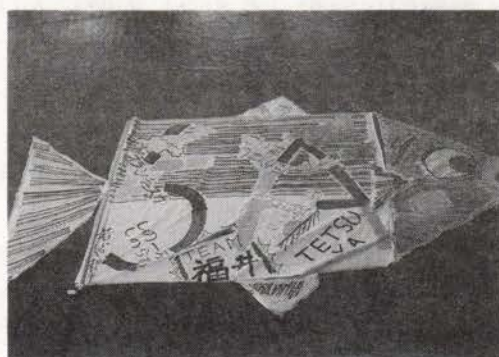
いつも何か新しい事がしたかった。これからは色々な事を学びたいと思った。(1名)

色々な年齢、職業、考え方をもった人々との出会いによって自分自身の来し方を振り返る事が出来た。この繁雑な日常の日々の中でそういう時間をもてたことは有意義だった。日常の世界とは異なった世界を体験し新鮮だった。(1名)

上記の様に、各人の勇気が今回海のライラプログラムへの参加につながり出会いの場を生み様々な喜びを共に体験することになった。

勇気とは、挑戦することである。これが我々の、今回の体験から得た勇気に対する解釈である。

5 - A



私達のグループは「勇気」と言うテーマの下に皆がどういう時に「勇気」いるかを話し合いました。

「ケンカを止める時」や「学校を選ぶとき」や「道に倒れている人を助ける時」などがありました。

そこで、「チカンにあった時ヤメテと、言える勇気」について日本の女の子とイタリア、オーストラリアの女「の子との話しを基に協議しました。

日本では、チカンにあえば「やめて！」

と言う被害者の女性の方が加害者である男性より注目されます。そうすると自分がガマンすればそれで良いとなり相手が何度も繰り返す事になる。

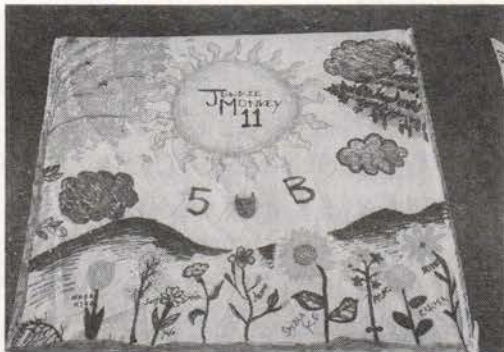
しかし、イタリアでは、「やめて！」と言うのは当たり前で逆に言わなければ、周りの人が言ってくれるし、言わなあかんと、怒られるのです。

オーストラリアでも一緒です。

外国では、「やめて1」と言うと周りの人が助けてくれるが、日本ではどうでしょうか？助けてあげれると思っても実際には何もできないでしょう。

これからはされた人は「やめて」と言う勇気を持ち周りの人達は「やめろ」と言える勇気を持って住み良い日本を作りたいです。

5 - B

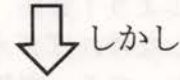


勇気は大切だ ～勇気のいろいろ～

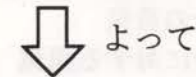
1. ・プロポーズする勇気
 - ・結婚する勇気
 - ・告白の電話
 - ・自分の意見を相手に伝える勇気
 - ・自己主張の強い人であれば他人の意見を聞き入れる勇気
2. ・ちかんに「やめて」と言う勇気
3. ・書道部に入るとき最初

現在社会において、若者は、自己の意見を伝えようとする勇気がない人が多い。それは、自分の言動に対し、自信がなかったり他人の目を気にする為である。若者は悪くいえば個性がなく周りにながされやすい

と言える。かといって、周りと同調せず、全く変わった事（例えば服装等）を行うと変な目で見られるため個性を出さずにいる。



自分の意見、思うことをハッキリと伝えていく勇気を持たずにいると、道は開かれない。何も創造できない。変わらない！



勇気を持ち、自分という独立性を出していくことが今後の21世紀を守っていくことが必要であると考えます。

弁 : プロポーズ

ラウラ : フィンランド→日本へ来た事

しなこ姉 : 自分で人生を切り開いていく事が勇気

自分考え

トツツイー : カンフェレンス

(意見の交換)

自分の意見をいわなかった。言った。

さんしょうされた！→

楽しくなった。

みほこ : 人に合わせる。 学生時代

伝えたい事をいう。

言わないといけない。視野が広がった

職場3年

自身がなくなっていく。

栄養士 自信がついた。

リーダー : 自分の意見を言うのに

抵抗なし！

人との衝突

曲げられない。

自分へ意見を受け入れるのも勇気。

自分を変える

軽音楽部

築き上げた事を捨てる！

大学プロのドラマー

一からやる勇気

大学やめる

あゆちゃん : 人の常識 自分の常識

友達ふつうの大学

料理の方に進んでいる。

シェフがDrean

大介 : キャラクター
 弁 : 決めなアカン事。
 話さなアカン事。
 結婚しよう！責任
 こうしなければダメだと
 「わかってる」責任
 ことを実行する事
 席の譲り

↓

自分の勇気
 社会に対する勇気
 教育

おやじ : 子供ドツク
 息子25 娘28 25
 勇気大切だ勇気を持って
 少ない人

↓

多くもつ

りょう : 大学入試 1人で勉強
 自分の生き方を主張
 目標

大学充実 福祉 老人会議

ジェフ : 1年日本に来ること！
 「変える事ができる」

Johnny : 書道クラブに入った事！
 楽しくしようと思った
 ノック寸止め
 変わらない！
 入部 充実している。

く、各人が勇気というテーマについて、どう感じたかを書いていただきました。それは勇気というのは個人によって感じ方が違うだろうと思ったからです。

だから、あえて、それぞれが一緒に過ごした3日間で感じ取った勇気を書いていただきました。その中でみんながいいなあと思った勇気について意見を書きますと

・私にとって勇気とは一人で行動出来る事だと思います。行動といっても例えばこのライラに参加して11人組にふり分けられ参加者の殆どが初対面だったと思うのですが、その中で話しかけたりして友達になることも勇気のある行動だと思います。又このライラは勇気のある行動のとれる行事だと思います。

・勇気とは何かは知っている。そこで勇気とは、私が思いますに、外国人であり一人でいる時にくじけないことである常に精進あるのみです。

・今回のこのライラに参加し、たくさんの全く知らない人との団体生活の中で色々な活動や、初対面の人と話しをしたりしながら色々な事にチャレンジしたみんなが、すごく勇気があることだと思いました。など、すべての人の文を書き移すことは出来ませんが、それぞれが感じた勇気です。ただ勇気にはランクなどないし、また良い勇気を比べることは出来ません。だから、みんなに書いていただいた勇気はみんな良かったし、今回、感じた勇気を、今後に生かしてほしいと思います。今回のライラでの生活は、忘れられない活動だったので、みんなが感じた勇気を大事にしたいと思います。

6 - A



11人の勇気

勇気というテーマについて、みんなが意見を出し合っってひとつにまとめるのではな

6-B



勇気とは

- ・人目を気にせず自分の意見や信念を貫ける人。
ex. 少数派の意見を唱えることが出来る人。
- ・自己の中の正義を守える
- ・自分の命をかえりみずに他人の命を助けに行くことが出来る人。
- ・自分を信じてみる時。
- ・ささいな事だけど電車に乗っていて席を譲ることが出来る人。
- ・新しいことを始めたり知らない所に一人で飛び込んでいく人。
- ・「だめだ」と感じた時、それをきっぱ

りあきらめることが出来る人。

また、間違いに気付き認めること。

・自分のやりたい事、それに対する不安や反対があつたとしても考えて、それ以上に自分の希望や期待が大きい時は一歩踏み出す

- ・「自殺する勇気があつたら何でも出来る」という言葉をよく耳にするけれどそんなのは勇気ではない。自殺とは自己の未来を投げ出し逃げ出す事であり、勇気とはどんな悪条件でも希望を見い出し、そちら向かう事ができることだからどんな場合にも自分が良いと思つた方向に物事を進めていけ事。
- ・1度あきらめた事でも挑戦してい事。
- ・可能性に努力する事

まとめ

今回の討議での私たちの結論は、勇気とはヒト言で言うと、前向きに行動する事だと思ふ。例えば、何か行動を起こす時に失敗するダメかもしれないなどを考えるのではなく、前向き、積極的に、自分は出来ると信じ込み行動する事だと思ふ。



海のライラ実行副委員長 八木 誠

地区青少年活動委員会より1997～1998年度、「海のライラ」のホストクラブに任じられた時より、大阪大手前RCに「海のライラ」実行委員会が設置され1996～1997年度「海のライラ」、「山のライラ」に登録参加しその運営方法、組織作り等を習得すると共に「ライラ」とは？、その意義・目的とするところは何かを議論し討論を始めました。

5月3日、4日、5日とたった3日間のセミナーの中で何を青少年に訴え何を体験させ何を指導するのが大きなテーマとなりました。権威のある講師、リーダーを委嘱して、ある日数、生活を共にし、青少年リーダー養成のためのグループ討論、講演、会合主宰方法、児童及び青少年の情緒的指導はもとより、人間関係、公共社会問題、応急手当の方法等に至るまで指導する事の難しさが、実行委員会の会合をかさねる度に重くのしかかってきました。

三日間を通じてその底流にある概念なり理念をどうするか、その大きな柱となるべきものは？そして最終日の「テーマ討論」で参加青少年がその全てを出し切って論じ合ってもらうためには……。

まずセミナー会場が大阪府立青少年海洋センターである事、そこでの体験活動がカッター活動、ビーチバレーであり「山のライラ」と共通するものに班旗製作、テーマ討論等があるという事から佐藤会長に標語並びに序論を考えていただき記念講演には、都市計画学者であり、冒険家でもある(社)大阪南太平洋協会理事長松村賢治氏に講演を依頼し「冒険から学んだ自然のすばらしさ」を話して下さるようお願いしました。そして以下の如く今回の「海のライラ」の底流にあるものを決定しました。

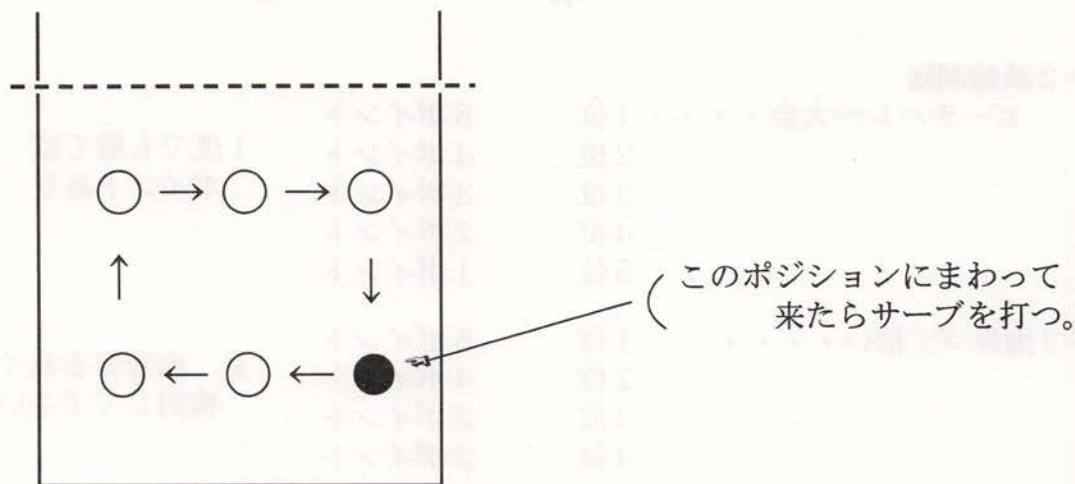
次に最終日の「テーマ討議」のテーマ“勇氣とは”をどの時点で青少年に提示するのか、実行委員会で大きな問題になり、当日参加の上級ライラの青年達の意見を聞くべく“場”をもちましたが、彼らが開口一番に言ったことは、「テーマは与えず参加青少年が自由にテーマを選び、自主的に討論させた方が良い」という思いがけない意見でした。これには我々実行委員会のメンバーも驚きましたが「ライラ」本来の基本方針にある“指導する”の言葉通り、テーマは与える事としてその時期は「テーマ討議」の直前とし、大阪大手前RC会員諸氏には秘密保持を義務つけて開講式に臨みました。しかし第一日目のプログラム終了後の夜11時からの大手前RC会員会議において、テーマ“勇氣とは”は非常に漠然とした大きな言葉であるため、彼等に討論する時間を少しでも長く与えることが重要だと決議され、急拠、第二日目の午後8時から9時30分の青少年班会議において発表する事となりました。そこでテーマの主旨説明をする班担当ロータリアン12名に「テーマ発表に際し、青少年に一定の方向付けをせぬよう」、第二日目のバーベキュー大会の途中で班担当者(ロータリアン)会議を開き、意思統一を計るべく、綿密に打ち合わせを行いました。

さて、どんな結論がテーマ討議の発表で出てくるのか、心配でもあり不安でもありましたが有賀次年度青少年活動委員長の丁寧な講評にもありました様に、それは立派な討議発表で目頭が熱くなる思いで何にも代え難い充実した満足感に浸りながら、閉講式を無事終えました。

- 1 コート 日本バレーボール協会規則による大きさ。
6人制バレーボールと同じ。ネットの高さは2m50cm。
- 2 ボール ソフトバレーボールを使用。
- 3 競技者 6名。ただし女性が2名以上コートに入ること。
選手の交代は、インプレー中でなければ何回行っても良い。
- 4 試合方法 15点、1セットマッチとする。ただし時間制限を設け、
15分間で得点の多いほうが勝ちとする。
もしその時点で同点であれば、その後1点を先取した方が勝ちとする。

★点数はラリーポイント制（相手コートにボールを落とすか、自チームのミス、サーブミスでも点数になる。）

★6人制と同様にローテーションを行う。



- 5 補助員 補助員として得点係が必要です。各試合2名。
1 試合目は、3試合目のチームから2名出す。
2 試合目以降は、直前の試合の負けチームから2名出す。

《ポイント制の導入》

班の仲間意識（団結）は、共に飯を食い、生活し、討論し、同じ時間を共有することによっても生まれるが、ゲーム等を通じて1つの目的の為に、共に汗を流し他の班に打ち勝ったときの喜び、負けた時の悔しさ等、が積み重なったときより班意識が出来上がります。その為、班同士をより競い合わせるために、ポイント制を導入いたします。

A-1 カッター活動・・・9mカッターを3艇使用のため2交代制とする。



・ポイントは艇着順位でつけます。



A-2 淡輪潮騒

ビーチバレー大会・・・	1位	5ポイント	1度でも勝てば ポイントあり
	2位	4ポイント	
	3位	3ポイント	
	4位	2ポイント	
	5位	1ポイント	

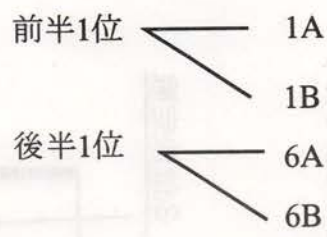
A-3 海岸ゴミ拾い・・・

1位	5ポイント	量、内容等を良く 検討して下さい
2位	4ポイント	
3位	3ポイント	
4位	2ポイント	

*尚、表彰は、部門別と総合優勝と両方をバーベキュー大会の後半時に表彰します。

表彰

- B-1 カッター活動・・・1位のみ
- B-2 淡輪潮騒
 - ビーチバレー大会・・・1位 6A
2位 1A
3位 1B
- B-3 海岸のゴミ拾い・・・1位 6B
- B-4 総合順位
 - 1位 6A
2位 6B
3位 1A
- B-5 班旗
 - ・・・講評 (RC) 最優秀賞 6A
2位 3A
3位 5B
 - 青少年の多数決?



*上記部門別表彰はそれぞれ部門別担当責任者が表彰し、総合優勝班は、ライラ実行責任者担当とする。

	1A	1B	2A	2B	3A	3B	4A	4B	5A	5B	6A	6B
カッター活動	3	3	1	1	2	2	1	1	2	2	3	3
ビバレー大会	4	3	2	1	0	1	2	0	1	0	5	0
ゴミ拾い	0	0	0	0	0	0	2	3	0	4	0	5
班旗	/	/	/	/	2位	/	/	/	/	3位	1位	/
テーマ会議												
合計点	7	6	3	2	2	3	5	4	3	6	8	8

ポイント制 (カッター活動, ビバレー大会, ゴミ拾い)
 ポイントなし (班旗, テーマ会議)

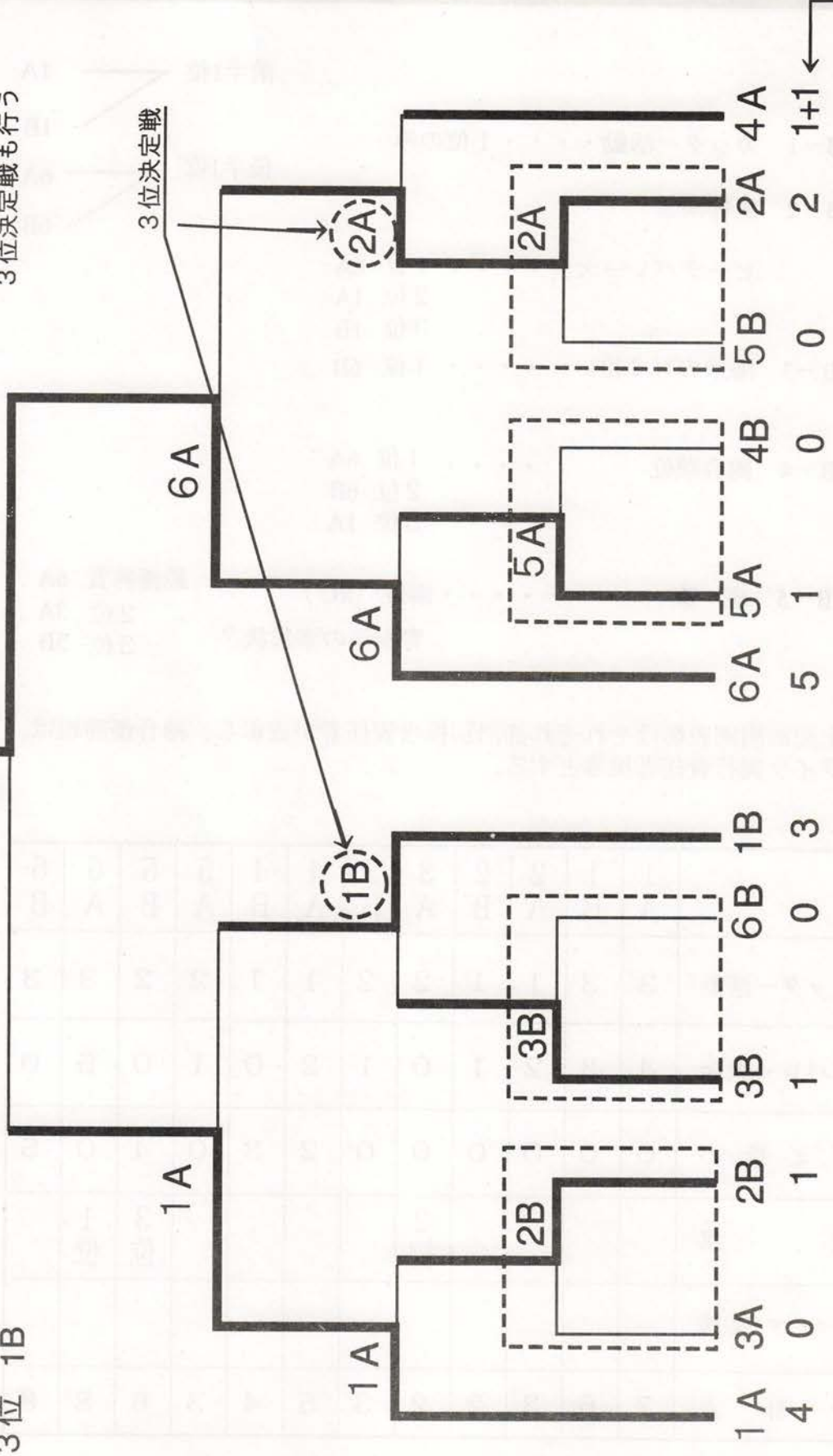
Aコート ← ○ Bコート →

- ・使用コート 2面
- ・対戦相手はくじ引き
- ・優勝決定戦の際、同時に3位決定戦も行う

1位 6A
2位 1A
3位 1B

優勝 6A

3位決定戦



この班のみシャツに背番号あり
ベストドレesser賞1点追加

一日目



登録風景



開講式

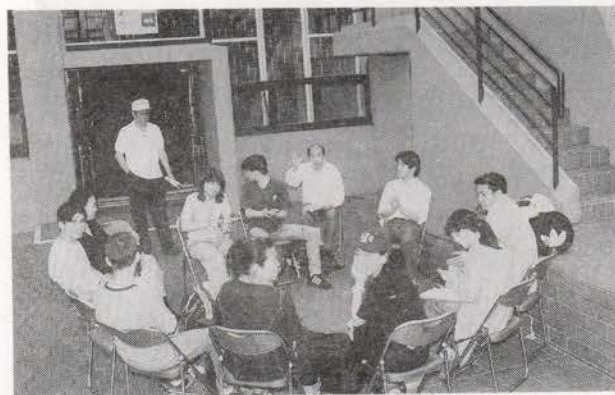


記念講演



松村賢治先生

班会議と説明



皆さんわかりましたか・・・

一日目

一日目

班会議



班旗製作



疲れたおじさん

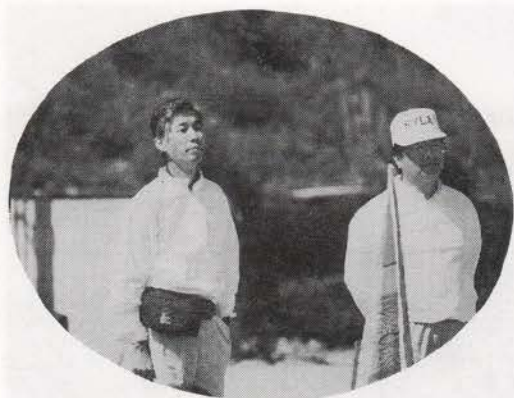
夕食風景



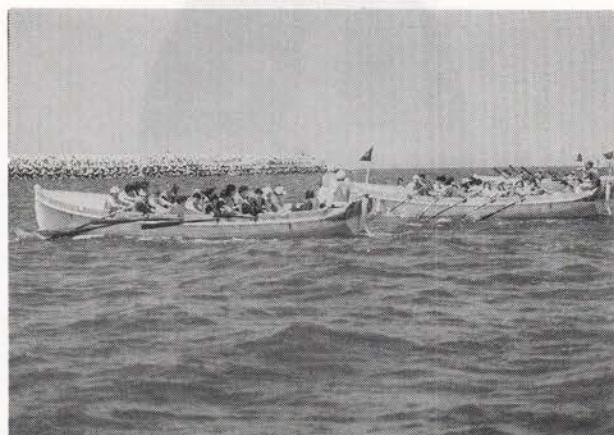
二日目

目日二

カッター活動



皆んなどこまで
行ったのかなあ!!

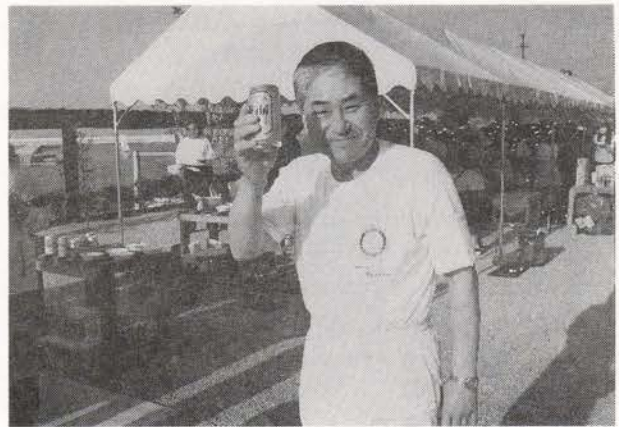


二日目

目日二

野外活動

ビーチバレー&バーベキュー大会



将来の為や
しゃーないわ
「ワシもあの歳には・・・△○？」

委員長も乾杯



三日目

テーマ討議

発表

「勇気」

(凡) 日る凡る



閉講式



修了証書授与



万感！それぞれの思い胸に
四者 四様



5月5日(月)

司会 徳崎善信

開式点鐘 大阪大手前ロータリークラブ会長 佐藤良和

挨拶と修了証書授与 地区ガバナー 近藤雅臣

講評 地区青少年活動委員長 板垣美一

講評 大阪府立青少年海洋センター所長 片岡弘尚

閉式の辞 大阪大手前ロータリークラブRYLA実行委員長 服部昌美

ロータリーソング 「手に手つないで」

閉式点鐘 大阪大手前ロータリークラブ会長 佐藤良和



次期地区青少年活動委員長

有賀 一夫

テーマ討議「勇気」

最近の青少年犯罪を防ぐ「勇気」、未経験の分野に挑戦する「勇気」、未開拓の分野を開拓する「勇気」、さらに団体の中で強調と和合、自主性を失わない「勇気」等、今回のライラセミナーのテーマ討議「勇気」についてのグループ発表は、大変良かったと思います。5分間の時間内で各班共に立派に発表されておりました。スピーチ、図表、パフォーマンス共に良く出来たと思います。

例えば自分で責任を取る勇気 (1A班)

夢をあきらめない勇気 (1B班)

人を信じ、自分を信じる勇気 (2A班)

初対面の人と話せる勇気 (2B班)

自分の弱い心に勝つ勇気 (3A班)

目に見えない勇気 (3B班)

支えたり支えられたりする勇気 (4A班)

勇気で出来たチームワーク (4B班)

痴漢に「やめて」(本人)「やめろ」(廻りの人)と言いう勇気 (5A班)

留学生や私達が外国で発表する勇気 (6A班)

少数派の意見を言う勇気、自殺するのは勇気ではない (6B班)

等々、各班の発表の内容の一部を見ましても、若者達が迷い、悩みそして意志を決定し、行動するための「勇気」を必要と強く感じていると思いました。

『海で親しむ若者のリーダーシップに万才、海のライラ万才。』

以上

大阪府立青少年海洋センター

副所長 酒井 洋幸



良い天気にも恵まれた、海洋センターでの2泊3日でしたが、皆さんは「やった！」という実感をもった「RYLA」でしたか。

この3日間、皆さんは「海」を舞台に多くのプログラムを経験されました。一つには、「海」の刻々と変わっていく姿を目の当たりにし、自然の豊かさや不思議さを感じられたのではないかと思います。

カッターを槽いで防波堤を廻った途端、外海の大きな波を感じたこと、目の前の風景も、風の向きや天気の場合で、淡路島、明石大橋、神戸、そして関西空港が良く見えたり、霞んで見えたりしたことなど、海を前にした広がりがあったことです。またもう一つには、初めて出会った仲間たちと絆や友情を深めることが出来たのではないかと思います。グループの旗を作るのに、皆でアイデアを出し合ったこと、カッターレースで力を合わせたこと、日本でも唯一と言われる本格的ビーチバレーコートで技を競い合ったこと、また力をあわせてバーベキュー作りに励んだことなど、良い思い出となって残ることでしょう。このようにいろいろなことを経験、体験した「RYLA」でしたが、今回の修了式が終わりではありません、これからが皆さんにとっての活動本番です。

今日の午前で、「RYLA」を経験して、これからどう自らの活動を作り上げていくかを話し合われたことかと思えます。この経験を、地域に帰ってローターアクトクラブの活動に生かそうと思っている方、また、この経験をもう一步押し進めて、上級のRYLAに挑戦しようと思っている方、あるいは仲間たちとの絆を大切に友情を継続させようと思っている方など様々でしょう。何を選ぶかは、皆さん自身ですが、お願いしたいことは是非ともこの経験を「継続」させていただきたいということです。

最後に、「このRYLAで何を体験したか、ということより、これから何をすることが大切」。このことばを皆さんにお贈りして講評とします。

終りにあたって、この催しを企画された2660地区青少年活動委員会の皆さん、ホストクラブとして大車輪の活躍をされた大手前ロータリーの方々、そして、なによりもこんなにたくさん参加された青年の皆さん方、それぞれの今回の頑張りを讃え、ともに拍手を贈りたいと思います。ありがとうございました。

大阪大手前ロータリークラブ
ライラ実行委員長 服部 昌美



開講式の時に雨が止みました。そして、閉講式の今、雨が降りだしました。絶好のお天気の下、青い海と共に過ごした三日間の海のライラプログラムが無事終了できますことを、ホストクラブの大阪大手前ロータリークラブの会員一同、心から嬉しく感謝いたしております。

会社の社長さんからの要請であるいは、お父さんからの指示で「ライラ」って何だろう？と思いながら参加された方も、かなりおられると思いますが、プログラムを全部やり遂げたいま、どのような感想どんな思いをお持ちでしょうか。「カイ」を力をあわせて漕ぐ。舟がグイグイ進む。砂の上で裸足で技を競ったビーチバレー。自分たちで調理した一寸変わった味のバーベキュー料理、焼き肉の味、班の仲間と夜も寝ないで「青春」とは何だ、「勇気」とは何だ、のグループディスカッション、力を合わせてプレーを競った後のあの汗、心地よい疲れと爽快感、三日間の体験学習、この青春の一コマをご自身の貴重な記録として書き止めておいて下さい。私たちもいろいろ勉強させて頂きました。親身になってお世話くださった海洋センターの所長様始め、大勢の皆様に、ホストクラブ大阪大手前ロータリークラブの会員全員を代表して、心からお礼を申し上げたいと思います。有難うございました。

以上をもって閉式の辞とさせていただきます。

以上

「奉仕の理想」

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の生業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー
ロータリー



「手に手つないで」

1.

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン
おゝロータリアン

2.

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン
おゝロータリアン

ライラ青年登録者一覧

	名 前 (クラブ名)
A	新居直樹 (大手前)、荒木 豪 (大手前)、秋山静香 (大手前)
C	千葉晋士 (本町)、張 麗艶 (大手前)
F	藤田雅巳 (東淀)、福本隆一 (本町)、福山知里 (住吉)、深田純夫 (大手前)、福井教智 (大手前)
H	平山清孝 (枚方)、橋野基宣 (寝屋川)、比嘉 研 (八尾)、堀川志帆 (淀川)、濱原加代 (東南)、堀田佳愛 (大手前)、平谷可奈美 (大手前)、伺 早林 (八尾) 濱田美保 (大手前)、浜野利江子 (大手前)、橋本千佳 (大手前)、林 剛史 (大手前)
I	泉 富弓 (守口)、伊藤寿三枝 (八尾)、板野真美子 (大手前)、伊藤真理 (大手前)、今西頼久 (大手前)、石川晴久 (大手前)、入江真理子 (大手前)、飯野和子 (天満橋)
K	亀井志奈子 (東淀)、金重直子 (東淀)、河野里沙 (西北)、桑野博之 (吹田西)、岸本隆寿 (八尾)、木村利晃 (住吉)、小西淳之 (大手前)、楠瀬理恵 (大手前)、桐井美知子 (大手前)、片桐佐代子 (大手前)、小園鮎美 (大手前)、金澤哲也 (大手前)、葛城葉由美 (大手前)、川上通忠 (大手前)、小島美穂 (大手前)、木村絵麗奈 (天満橋)、黒田佳成 (大手前)、久保絢子 (RX)
M	森本紀代子 (守口)、村木 茂 (淀川)、三寺 潤 (みなと)、三嶋浩司 (住吉)、森山雅代 (RX) 松田拓也 (大手前)、松本縫子 (大手前)、森 京子 (大手前)、湊 和美 (大手前)、松本留美 (東淀)
N	西尾正志 (茨木)、中瀬古 和 (寝屋川東)、中野秀彦 (東淀)、中野浩司 (東淀)、西山こころ (東淀) 西本貴洋 (吹田西)、中島大介 (八尾)、長井 温 (東南)、中谷奈美 (みなと)、中澄友紀 (住吉)、野村勝之 (大手前)、長尾友博 (大手前)、西岡真利子 (大手前)、中村美絵 (大手前)、永吉真知子 (大手前)、中島清治 (天満橋)、中島美香 (天満橋)、西脇絵里子 (RX)
O	岡田海洋 (西北)、奥野奏恵 (うつぼ)、大田静香 (阿倍野)
S	篠原裕和 (東淀)、杉岡正基 (吹田西)、 末武成一 (吹田西)、阪本三可 (大手前)、下村剛史 (大手前)、沢田鉄平 (大手前)、 笹島寿美子 (大手前)、瀬戸川雄一 (中央)、菅崎隆蔵 (天満橋)、鈴木俊朗 (天満橋)
T	富岡和彦 (枚方)、竹嶋修一郎 (守口)、瀧本友紀 (住吉)、田頭真弓 (大手前)、他村仁美 (大手前) 高橋麻衣子 (大手前)、高谷由香里 (大手前)、橘 陽子 (大手前)、竹部将彦 (大手前)、 鷹野由起子 (大手前)、種池芙未 (大手前)、田中規明 (大手前)、田中真也 (大手前)、 栃窪香寿佐 (阿倍野)、田中久美子 (大手前)、玉木さゆり (鶴見)
U	上田和代 (大手前)
W	脇田昇一 (大手前)、若宮哲洋 (大手前)
Y	山口雅之 (守口)、山下知央 (寝屋川)、山下真史 (八尾)、山口順子 (大手前)、 山口陽子 (大手前)、山本晃嘉 (大手前)、山崎雅子 (RX)
	メルニコヴァ・ヴァレンチーナ・ヴァーリャ (枚方くずは)、エリアス・ランタプスカ (交野)、ルート・マウリッツ (交野)、ジミー・ブッチャー (守口)、ミューラ・メラニー (本町)、アンダーソン・ハイ・デビッド (本町)、ラウラ・コッポネン (西北)、 ジェフリー・マグリオラ (鶴見)、ヘイドン・パークス (うつぼ)、イクソン・イオアング (高槻西)、 ビザイ・ホセ・パブロ (住吉) クリスティン・ウエルマン (摂津)、デイレック・マクダニエル (守口)、ガスキン・シミー (東大阪東) ジェーネイソン (高槻西) John Hao (大手前)、Chun Kai Hsiao (大手前)、アンドレアルイーズスインバージョン (城東)、フランセスカニッティ (北)

班活動グループ

第1班A	枚方くずは 東大阪東 守口 寝屋川東 大阪大淀 八尾 ROTEX 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前	MELNIKOVA VALENTINA VALYA GASKIN JAMES JIM 山口雅之 中瀬古和 金重直子 山下真央 山崎雅子 板野真美子 伊藤真理 ○松田拓也 田中真也	第1班B	寝屋川 大阪阿倍野 大阪東淀 大阪住吉 大阪淀川 八尾 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前	山下知央 ○太田静香 西山ころろ 福山知里 堀川志帆 比嘉研 阪本三可 脇田昇一 田中规明 JOHN HAO CHUN KAI HSIAO
------	--	---	------	---	---

第2班A	枚方 交野 交野 守口 大阪天満橋 ROTEX 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前	富岡和彦 RUTH MAURITZ ERIAS RANTAPSKA 泉富弓 菅崎隆蔵 ○守山雅代 下村剛史 川上通忠 秋山静香 森京子 他村仁美	第2班B	大阪東淀 大阪みなと 大阪淀川 吹田西 八尾 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前	松本留美 三寺潤 ○村木茂 末武成一 岸本隆寿 田中久美子 上田和代 深田純夫 荒木豪 入江真理子 松本縫子
------	---	--	------	--	--

第3班A	大阪中央 大阪本町 大阪本町 大阪住吉 吹田西 ROTEX 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前	瀬戸川雄一 MULLER MELANIE ANDERSON HIGH DAVID 瀧本友紀 桑野博之 西脇絵里子 今西瀬久 長尾友博 ○堀田佳愛 種池芙未 平谷加奈美	第3班B	守口大阪 大阪東淀 大阪本町 大阪うつぼ 大阪うつぼ 高槻西 高槻西 ROTEX 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前 大阪大手前	○竹嶋修一郎 中野浩司 千葉晋士 HADEN PARKES 奥野奏恵 NATHAN BIVERS XIONG IA-ONG 久保絢子 張麗艶 石川晴久 鷹野由紀子 楠瀬理恵
------	--	---	------	---	---

班活動グループ

第4班A 寝屋川 橋野基宣
 大阪東淀 中野秀彦
 大阪西北 岡田敏洋
 大阪住吉 ○中澄友紀
 大阪天満橋 木村絵麗奈
 大阪東南 濱原加代
 吹田西 西本貴洋
 大阪大手前 湊和美
 大阪大手前 笹島寿美子
 大阪大手前 小西淳之
 大阪大手前 中村美絵

第4班B 枚方 平山清孝
 大阪住吉 木村利晃
 大阪住吉 BIZAI JOSE PABLO
 大阪東南 長井温
 大阪鶴見 玉木さゆり
 摂津 KRISTEN WELLMANN
 八尾 ○何早林
 大阪大手前 葛城葉由美
 大阪大手前 沢田鉄平
 大阪大手前 高谷由香里
 大阪大手前 桐井美和子

第5班A 大阪東淀 篠原裕和
 大阪城東 ANDREA SWINBURNE-JONES
 大阪北 FRANCESKA NITTI
 大阪天満橋 飯野和子
 吹田西 杉岡正基
 大阪大手前 ○福井教智
 大阪大手前 金澤哲也
 大阪大手前 山口順子
 大阪大手前 片桐佐代子
 大阪大手前 若宮哲洋
 大阪大手前 高橋麻衣子

第5班B 大阪阿倍野 柄窪香寿佐
 大阪東淀 亀井志奈子
 大阪西北 LAURA KOPONEN
 大阪天満橋 中島清治
 大阪鶴見 JEFFREY MAGLIOLA
 八尾 中島大介
 大阪大手前 山口陽子
 大阪大手前 ○新居直樹
 大阪大手前 小園鮎美
 大阪大手前 竹部将彦
 大阪大手前 濱田美保

第6班A 茨木 西尾正志
 守口 森本紀代子
 守口 JIMMY BUTCHER
 守口 DELEK MCDANIEL
 大阪天満橋 中島美香
 大阪大手前 橋本千佳
 大阪大手前 橋陽子
 大阪大手前 西岡真利子
 大阪大手前 ○黒田佳成
 大阪大手前 林剛史
 大阪大手前 浜野利江子

第6班B 大阪中央 小島美穂
 大阪本町 福本隆一
 大阪みなと 中谷奈美
 大阪西北 河野里沙
 大阪住吉 三嶋浩司
 大阪天満橋 鈴木俊朗
 八尾 伊藤壽三枝
 大阪大手前 田頭真弓
 大阪大手前 ○山本晃嘉
 大阪大手前 野村勝之
 大阪大手前 永吉真知子

就寝班グループ

青少年 男子 4階

*印は、部屋の鍵の当番

ビクトリア1号

大阪大手前 深田純夫*
 大阪大手前 松田拓也
 大阪大手前 脇田昇一
 八尾 比嘉 研
 八尾 何 早林
 八尾 中島大介
 八尾 山下真史
 八尾 岸本隆寿

ビクトリア2号

大阪大手前 沢田鉄平
 大阪大手前 小西淳之
 大阪大手前 新居直樹
 大阪大手前 山本晃嘉
 大阪大手前 黒田佳成*
 大阪うつぼ HADEN PARKS
 東大阪東 GASKIN JAMES JIM
 高槻西 NATHAN BIVERA

ビクトリア3号

大阪大手前 田中規明*
 大阪大手前 田中真也
 大阪大手前 林 剛史
 大阪大手前 JOEN HAO
 大阪大手前 CEUN KAI HSIAO
 大阪天満橋 菅崎隆蔵
 大阪天満橋 鈴木俊朗
 大阪天満橋 中島清治

メイフラワー1号

大阪大手前 荒木 豪
 大阪大手前 石川晴久
 大阪大手前 竹部将彦
 大阪大手前 若宮哲洋*
 守口 山口雅之
 守口 竹嶋修一郎
 守口 DELEK MCDANTEL
 守口 JIMMY BUTCHER

メイフラワー2号

大阪大手前 福井教智*
 大阪大手前 金澤哲也
 大阪大手前 野村勝之
 吹田西 西本貴洋
 吹田西 杉岡正基
 吹田西 桑野博之
 吹田西 未武成一

メイフラワー3号

大阪大手前 川上通忠
 大阪大手前 下村剛史*
 大阪大手前 今西頼久
 大阪大手前 長尾友博
 大阪本町 千葉晋士
 大阪本町 福本隆一
 交野 ERIAS RANTPUSKA
 大阪本町 ANDERSON HIGH DAVID

インディバー1号

枚方 富岡和彦
 枚方 平山清孝
 大阪住吉 三嶋浩司
 大阪住吉 木村利晃*
 大阪住吉 BIZAI JOSE PABLO
 大阪鶴見 JEFFREY MAGLOLA
 大阪淀川 村本 茂

インディバー2号

大阪東淀 中野秀彦*
 大阪東淀 中野浩司
 大阪東淀 篠原祐和
 茨木 西尾正志
 寝屋川 橋野基宣
 大阪西北 岡田敏洋
 大阪中央 瀬戸川 雄一

インディバー3号

上級ライラ 井上憲一*
 上級ライラ 西川英行
 上級ライラ 寺井太郎
 上級ライラ 石田 将
 上級ライラ 国分 学

就寝班グループ

青少年 女子 5階

*印は、部屋の鍵の当番

ビクトリア4号

大阪大手前 板野真美子 *
 大阪大手前 伊藤真理
 大阪大手前 阪本三可
 守 口 泉 富弓
 守 口 森本紀代子
 寝屋川 山下知央
 大阪城東 ANDREA SWINBURNE-JONES
 大阪北 FRANCESCA NITTI

ビクトリア5号

大阪大手前 田頭真弓
 大阪大手前 山口順子 *
 大阪大手前 西岡 真利子
 大阪大手前 山口陽子
 大阪東淀 西山こころ
 大阪東淀 松田留美
 大阪東淀 亀井志奈子
 大阪東淀 金重直子

ビクトリア6号

大阪大手前 片桐佐代子 *
 大阪大手前 小園鮎美
 大阪大手前 高谷 由香里
 大阪住吉 中澄友紀
 大阪住吉 柄窪 香寿佐
 大阪住吉 瀧本友紀
 大阪阿倍野 柄経番方体
 大阪阿倍野 太田静香

メイフラワー4号

大阪鶴見 玉木さゆり
 寝屋川東 中瀬古 和
 ROTEX 久保絢子
 ROTEX 山崎雅子
 森山雅代 *
 ROTEX 西脇 絵里子
 交 野 RUTH MAURITZ
 枚方くずは MELNIKOVA VALENTINA VALYA

メイフラワー5号

大阪大手前 他村仁美 *
 大阪大手前 松本縫子
 大阪大手前 平谷加奈美
 大阪大手前 楠瀬理恵
 大阪大手前 中村美絵
 大阪西北 河野里沙
 大阪西北 LAURA KOPONEN
 摂 津 KRISTEN WELLMANN

メイフラワー6号

大阪大手前 桐井美和子
 大阪大手前 高橋麻衣子 *
 大阪大手前 濱田美保
 大阪大手前 浜野利江子
 大阪大手前 永吉真知子
 大阪東南 濱原加代
 大阪東南 長井 温
 大阪うつば 奥野奏恵

インディバー4号

大阪大手前 湊 和美 *
 大阪大手前 葛城 葉由美
 大阪大手前 笹島 寿美子
 大阪大手前 張 麗艶
 大阪大手前 堀田佳愛
 大阪大手前 秋山静香
 大阪中央 小島美穂
 八 尾 伊藤 壽三枝

インディバー5号

大阪大手前 鷹野 由紀子 *
 大阪大手前 種池 芙美
 大阪大手前 森 京子
 大阪大手前 入江 真理子
 大阪みなと 三寺 潤
 大阪みなと 中谷 奈美
 高 槻 西 XIONG IA-ONG
 大阪本町 MULLER MELANIE

インディバー6号

大阪大手前 橘 陽子 *
 大阪大手前 橋本千佳
 大阪大手前 上田和代
 大阪大手前 田中久美子
 大阪天満橋 飯野和子
 大阪天満橋 木村絵麗奈
 大阪天満橋 中島美香
 大阪淀川 堀川志帆

青少年登録者一覧表（あいうえお順別）

○印は活動班リーダー

*印は就寝班鍵の当番

氏名	性別	年齢	推薦RC	活動班	就寝班(部屋)
(あ)					
○新居 直樹	男	21	大阪大手前	5班B	ビクトリア 2
荒木 豪	男	20	大阪大手前	2班B	メイフラワー 1
秋山 静香	女	23	大阪大手前	2班A	インディバー 4
(い)					
井上 憲一	男		上級ライラ		インディバー 3*
石田 将	男		上級ライラ		インディバー 3
板野真美子	女	24	大阪大手前	1班A	ビクトリア 4
伊藤 真理	女	24	大阪大手前	1班A	ビクトリア 4
泉 富弓	女	24	守 口	2班A	ビクトリア 4
入江真理了	女	19	大阪大手前	2班B	インディバー 5
石川 晴久	男	22	大阪大手前	3班B	メイフラワー 1
飯野 和子	女	26	大阪天満橋	5班A	インディバー 6
伊藤壽三枝	女	24	八 尾	6班B	インディバー 4
今西 頼久	男	19	大阪大手前	3班A	メイフラワー 3
(う)					
上田 和代	女	20	大阪大手前	2班B	インディバー 6
(お)					
○太田 静香	女	21	大阪阿倍野	1班B	ビクトリア 6
奥野 奏恵	女	15	大阪うつぼ	3班B	メイフラワー 6
岡田 敏洋	男	22	大阪 西 北	4班A	インディバー 2
(か)					
亀井志奈子	女	24	大阪 東 淀	5班B	ビクトリア 5
金澤 哲也	男	20	大阪大手前	5班A	メイフラワー 2
片桐佐代子	女	23	大阪大手前	5班A	ビクトリア 6*
金重 直子	女	24	大阪 東 淀	1班A	ビクトリア 5
川上 通忠	男	23	大阪大手前	2班A	メイフラワー 3
葛城葉由美	女	29	大阪大手前	4班B	インディバー 4
(き)					
本村 利晃	男	25	大阪 住 吉	4班B	インディバー 1*
桐井美和子	女	25	大阪大手前	4班B	メイフラワー 6*
木村絵麗奈	女	23	大阪天満橋	4班A	インディバー 6
岸本 隆寿	男	27	八 尾	2班B	ビクトリア 1

(く)

楠瀬 理恵	女	24	大阪大手前	3班B	メイフラワー	5
久保 絢子	女	19	ROTEX	3班B	メイフラワー	4
黒田 佳成	男	28	大阪大手前	6班A	ビクトリア	2*
桑野 博之	男	23	吹田西	3班A	メイフラワー	2
国分 学	男		上級ライラ		インディバー	3
小園 鮎美	女	21	大阪大手前	5班B	ビクトリア	3
小島 美穂	女	20	大阪中央	6班B	インディバー	4
小西 淳之	男	21	大阪大手前	4班A	ビクトリア	2
河野 里沙	女	21	大阪西北	6班B	メイフラワー	5

(さ)

阪本 三可	女	25	大阪大手前	1班B	ビクトリア	4
沢田 鉄平	男	21	大阪大手前	4班B	ビクトリア	2
笹島寿美子	女	28	大阪大手前	4班A	インディバー	4

(し)

篠原 裕和	男	20	大阪東淀	5班A	インディバー	2
下村 剛史	男	24	大阪大手前	2班A	メイフラワー	3*

(す)

末武 成一	男	20	吹田西	2班B	メイフラワー	2
鈴木 俊朗	男	21	大阪天満橋	6班B	ビクトリア	3
杉岡 正基	男	24	吹田西	5班A	メイフラワー	2
菅崎 隆蔵	男	21	大阪天満橋	2班A	ビクトリア	3

(せ)

瀬戸川雄一	男	25	大阪中央	3班A	インディバー	2
-------	---	----	------	-----	--------	---

(た)

田頭 真弓	女	23	大阪大手前	6班B	ビクトリア	5
竹部 将彦	男	20	大阪大手前	5班B	メイフラワー	1
玉木さゆり	女	16	大阪鶴見	4班B	メイフラワー	4
高谷由香里	女	22	大阪大手前	4班B	ビクトリア	6
○竹嶋修一郎	男	29	守口	3班B	メイフラワー	1
鷹野由紀子	女	19	大阪大手前	3班B	インディバー	5*
田中久美子	女	20	大阪大手前	2班B	インディバー	6
田中 規明	男	23	大阪大手前	1班B	ビクトリア	3*
橘 陽子	女	23	大阪大手前	6班A	インディバー	6*
高橋麻衣子	女	23	大阪大手前	5班A	メイフラワー	6
瀧本 友紀	女	21	大阪住吉	3班A	ビクトリア	6
種池 芙未	女	19	大阪大手前	3班A	インディバー	5
他村 仁美	女	26	大阪大手前	2班A	メイフラワー	5*

田中 真也	男	23	大阪大手前	1班A	ビクトリア	3
(ち)						
千葉 晋士	男	19	大阪 本 町	3班B	メイフラワー	3
張 麗艶	女	24	大阪大手前	3班B	インディバー	4
(て)						
寺井 太郎	男		上級ライラ		インディバー	3
(と)						
栃窪香寿佐	女	21	大阪阿倍野	5班B	ビクトリア	6
富岡 和彦	男	24	枚 方	2班A	インディバー	1
(な)						
中野 浩司	男	21	大阪 東 淀	3班B	インディバー	2
長井 温	女	16	大阪 東 南	4班B	メイフラワー	6
中島 大介	男	22	八 尾	5班B	ビクトリア	1
中島 清治	男	29	大阪天満橋	5班B	ビクトリア	3
永吉真知子	女	20	大阪大手前	6班B	メイフラワー	6
中谷 奈美	女	22	大阪みなと	6班B	インディバー	5
中島 美香	女	30	大阪天満橋	6班A	インディバー	6
中村 美絵	女	21	大阪大手前	4班A	メイフラワー	5
○中澄 友紀	女	19	大阪 住 吉	4班A	ビクトリア	6
中野 秀彦	男	28	大阪 東 淀	4班A	インディバー	2*
長尾 友博	男	19	大阪大手前	3班A	メイフラワー	3
中瀬古 和	女	26	寝屋川 東	1班A	メイフラワー	4
(に)						
西川 英行	男		上級ライラ		インディバー	3
西山こころ	女	19	大阪 東 淀	1班B	ビクトリア	5
西尾 正志	男	29	茨 木	6班A	インディバー	2
西本 貴洋	男	25	吹 田 西	4班A	メイフラワー	2
西脇絵里子	女	18	R O T E X	3班A	メイフラワー	4
西岡真利子	女	19	大阪大手前	6班A	ビクトリア	5
(の)						
野村 勝之	男	22	大阪大手前	6班B	メイフラワー	2
(は)						
濱田 美保	女	22	大阪大手前	5班B	メイフラワー	6
濱原 加代	女	16	大阪 東 南	4班A	メイフラワー	6
橋野 基宣	男	27	寝 屋 川	4班A	インディバー	2
橋本 千佳	女	24	大阪大手前	6班A	インディバー	6
浜野利江子	女	19	大阪大手前	6班A	メイフラワー	6
林 剛史	男	23	大阪大手前	6班A	ビクトリア	3

(ひ)						
平山	清孝	男	21	枚方	4班B	インディバー 1
比嘉	研	男	26	八尾	1班B	ビクトリア 1
平谷	加奈美	女	26	大阪大手前	3班A	メイフラワー 5
(ふ)						
福本	隆一	男	19	大阪本町	6班B	メイフラワー 3
藤田	雅巳	女	23	大阪東淀	2班B	ビクトリア 5
深田	純夫	男	25	大阪大手前	2班B	ビクトリア 1*
福山	知里	女	20	大阪住吉	1班B	ビクトリア 6
○福井	教智	男	22	大阪大手前	5班A	メイフラワー 2*
(ほ)						
○何	早林	男	27	八尾	4班B	ビクトリア 1
堀川	志帆	女	27	大阪淀川	1班B	インディバー 6
○堀田	佳愛	女	23	大阪大手前	3班A	インディバー 4
(ま)						
松本	縫子	女	29	大阪大手前	2班B	メイフラワー 5
○松田	拓也	男	22	大阪大手前	1班A	ビクトリア 1
松本	留美	女		大阪東淀	2班B	ビクトリア 5
(み)						
湊	和美	女	26	大阪大手前	4班A	インディバー 4*
三寺	潤	女	24	大阪みなと	2班B	インディバー 5
三嶋	浩司	男	21	大阪住吉	6班B	インディバー 1
(む)						
○村木	茂	男	28	大阪淀川	2班B	インディバー 1
(も)						
森本	紀代子	女	23	守口	6班A	ビクトリア 4
森	京子	女	19	大阪大手前	2班A	インディバー 5
○森山	雅代	女	22	ROTEX	2班A	メイフラワー 4*
(や)						
山下	知央	女	25	寝屋川	1班B	ビクトリア 4
山下	真史	男	24	八尾	1班A	ビクトリア 1
山崎	雅子	女	21	ROTEX	1班A	メイフラワー 4
山口	陽子	女	19	大阪大手前	5班B	ビクトリア 5
山口	順子	女	23	大阪大手前	5班A	ビクトリア 5*
○山本	晃嘉	男	22	大阪大手前	6班B	ビクトリア 2
山口	雅之	男		守口	1班A	メイフラワー 1
(わ)						
脇田	昇一	男	25	大阪大手前	1班B	ビクトリア 1
若宮	哲洋	男	24	大阪大手前	5班A	メイフラワー 1*

留学生

・ JOHN HAO	男	19	大阪大手前 1班B	ビクトリア	3
・ CHUN KAI HSIAO	男	20	大阪大手前 1班B	ビクトリア	3
・ GASKIN JAMES JIM	男	19	東大阪東 1班A	ビクトリア	2
・ RUTE MAURITZ	女	17	交野 2班A	メイフラワー	4
・ ELIAS RANTAPSKA	男	18	交野 2班A	メイフラワー	3
・ HADEN PARKES	男	17	大阪うつぼ 3班B	ビクトリア	2
・ XIONG IA-ONG	女	17	高槻西 3班B	インディバー	5
・ MULLER MELANIE	女	16	大阪本町 3班A	インディバー	5
・ ANDERSON HIGH DAVID	男	17	大阪本町 3班A	メイフラワー	3
・ BIZAI JOSE PABLO	男	18	大阪住吉 4班B	インディバー	1
・ KRISTEN WELLMANN	女	16	摂津 4班B	メイフラワー	5
・ LAURA KOPONEN	女	17	大阪西北 5班B	メイフラワー	5
・ JEFFREY MAGLIOLA	男	19	大阪鶴見 5班B	インディバー	1
・ ANDREA SWINBURNE JONES	女	28	大阪城東 5班A	ビクトリア	4
・ FRNCESCA NITTI	女	25	大阪北 5班A	ビクトリア	4
・ JIMMY BUTCHER	男	17	守口 6班A	メイフラワー	1
・ DELEK MCDANIEL	男	17	守口 6班A	メイフラワー	1
・ NETHAN BIVERA	男	17	高槻西 3班B	ビクトリア	2
・ WELNIKOVA VELANTINA VILYA	女	16	枚方くずは 1班A	メイフラワー	4

RYLAクラブ別参加登録一覧

ク ラ ブ 名	青少年	ロータリオン	合 計
大 東	0	0	0
大 東 中 央	0	0	0
東 大 阪	0	4	4
東 大 阪 東	1	4	5
東 大 阪 中 央	0	2	2
東 大 阪 西	0	2	2
枚 方	2	2	4
枚 方 く ず は	1	2	3
茨 木	1	3	4
茨 木 東	0	2	2
茨 木 西	0	2	2
池 田	0	6	6
池 田 く れ は	1	0	0
門 真	0	2	2
交 野	2	4	6
箕 面	0	0	0
箕 面 中 央	0	0	0
守 口	6	1	7
寝 屋 川	2	2	4
寝 屋 川 東	1	2	3
大 阪	0	10	10
大 阪 阿 倍 野	2	1	3
大 阪 ち ゃ や ま ち	0	1	1
大 阪 中 央	2	30	32
大 阪 堂 島	0	0	0
大 阪 阪 南	0	2	2
大 阪 東	0	1	1
大 阪 東 淀	7	0	7
大 阪 平 野	1	0	0
大 阪 本 町	4	1	5
大 阪 イ ブ ニ ン グ	0	1	1
大 阪 城	0	1	1
大 阪 城 南	0	4	4
大 阪 城 東	1	1	2
大 阪 柏 原	0	0	0
大 阪 北	1	5	6
大 阪 北 梅 田	0	2	2
大 阪 北 淀	0	2	2
大 阪 御 堂 筋	0	3	3
大 阪 南	0	15	15
大 阪 み な と	2	3	5
参 加 小 計	37	123	160

ク ラ ブ 名	青少年	ロータリオン	合 計
大 阪 中 之 島	0	25	25
大 阪 難 波	0	1	1
大 阪 な に わ	0	2	2
大 阪 南 西	0	1	1
大 阪 西	0	1	1
大 阪 大 手 前	58	64	122
大 阪 大 淀	0	1	1
大 阪 咲 洲	0	4	4
大 阪 西 北	3	2	5
大 阪 西 南	0	0	0
大 阪 船 場	0	3	3
大 阪 心 齋 橋	0	3	3
大 阪 城 北	0	3	3
大 阪 そ ね ざ き	0	12	12
大 阪 住 之 江	0	4	4
大 阪 住 吉	6	2	8
大 阪 天 満 橋	6	17	23
大 阪 天 王 寺	0	1	1
大 阪 東 南	2	2	4
大 阪 鶴 見	2	15	17
大 阪 梅 田	0	1	1
大 阪 梅 田 東	0	3	3
大 阪 う つ ぼ	2	5	7
大 阪 淀 川	2	0	2
千 里	0	1	1
摂 津	1	2	3
四 條 畷	0	3	3
吹 田	0	0	0
吹 田 江 坂	0	1	1
吹 田 西	4	2	6
高 槻	0	0	0
高 槻 東	0	2	2
高 槻 西	2	11	13
豊 中	0	1	1
豊 中 南	0	3	3
豊 中 大 阪 国 際 空 港	0	0	0
豊 中 千 里	0	0	0
八 尾	6	2	8
八 尾 中 央	0	25	25
八 尾 東	0	0	0
R O T E X	4		4
参 加 小 計	98	225	323
参 加 合 計	135	348	483

「海のライラを終えて」

実行副委員長 飯田 都

この「海のRYLA」のホストを務めさせて頂く事が決まって後、昨年度の「海のRYLA」に数名の会員が参加見学いたすことから始まり、その後、クラブを挙げての実行委員会を組織し準備に取り組んで参りました。

地区委員会でのご指導と府立青少年海洋センタースタッフのご助言を得て、テーマや記念講演を含めての研修プログラムも確定し、第2660地区の各ロータリークラブへのご案内をご送付いたしましてからも、毎日がRYLA参加登録数に気を揉む日々でございました。

お陰様で最終的にはロータリアン348名、青少年133名、上級ライラ5名のご登録を頂き、RYLA初日の5月3日を迎えることができました。

しかし、RYLA当日は朝からの大雨で天候を心配したものの、これも恵まれ、2日目の野外での研修活動は清々しい紺碧の青空の下で実施することができ、まさに、今年度の標語にあります「空は青 海も青」が現実となりまして、この幸運に感謝しておる次第でございます。

開講式では、松本青少年活動担当パストガバナー、吉川ガバナーノミニ、片岡海洋センター所長、板垣地区委員会委員長のご挨拶を頂き、また、今回のRYLAの標語の作者でもあります私どもホストクラブの佐藤会長より歓迎の挨拶があり、その折りに今回のRYLAの標語の意味、序論を話させて頂きました。

今年度の「海のRYLA」の研修内容に関しましては、まず特筆すべきは、各クラブよりご推薦を頂きました青年男女は実に資質に富み、素直で闊達、活発な若人ばかりでございまして、この素晴らしき青少年男女をご推挙頂きました各クラブ会員各位に厚くお礼申し上げますと共に、若人彼等と共にこの「海のRYLA」を実施できました事はホストと致しまして誠に幸せなことであったと思っております。

また、ROTEX関係の方々のご尽力によりまして、19名の留学生にもご登録頂きましたが、その語学力も事前にはよく把握できません、実はホストとして心配もしておりました。

しかし、これも杞憂に終り、RYLA初日、班グループ活動として最初の「グループミーティング」の時から留学生達は皆活気あり、その夜のプログラムの「班旗製作」におきまして各班の班旗は創意工夫に溢れた実に素晴らしいでき栄えであったのですが、最後に参加者全員の挙手にて表彰を行う時にも彼等の積極性は一際目立っておりました。

2日目、紺碧の下でのカッター（漕艇）活動とバーベキュー大会は2班合同での活動でありましたが、今年度初めて行いましたビーチバレー大会も含めまして、全体として非常な盛り上がりを見せ、各班のまとまりも良く、当日の各プログラムにおきましてはポイント制として班別に順位を競い合いました。ビーチバレーで早々に敗退した班には海岸のゴミ集めでもポイントを与えることにさせて頂きましたが、優勝を賭けて最後まで競技をしたチームまで熱心にゴミを拾ってくれました。これからの活動や競技のポイントを集計しまして各プログラムの優秀班や総合優勝などを決め、例年の楽しみであるバーベキュー大会の時に、賑やかに表彰式を行うことができました。

そして、このバーベキュー大会の準備も各班ごとに協力して薪を運び、火をおこし、明るく積極的に進めてくれました。この時点で、参加青少年男女は班としての融和、協調性を図り、また、自分達でこのRYLAを自主的にを行うという姿勢も見られ、私どもはRYLA研修の目的の一つを達成できつつあると実感することができました。

その夜の班会議にて、私たちは最終日のテーマ討議のテーマを「勇気とは？」とする旨を発表いたしました。野外での研修プログラムに追われた一日目の夜でもあり、かなり疲れ

ている筈と思っていたものの、そのテーマを聞いた途端に各班のどのテーブルも「勇気」についての白熱したディスカッションが始まり、男女を問わず全員がいろんな意見を出しながら真剣に話す姿を目の当たりにして、私どもは驚きと同時に本当に嬉しく感じました。

今年度のテーマにつきましては、今回のRYLAの標語である「空は青 海も青 我らは青春 海のライラでリーダーシップを培育しよう」の言葉にある様に、若い世代に対し「自分自身を育てよ」とのメッセージを送ることから始まり、松村賢治氏による講演では「冒険から学んだ自然の美しさ」を主題にして「真の冒険心とは何か？世界の中で、今、君達若者は視野を広く持とう」と語って頂き、また、2日目の野外研修プログラムには積極的に参加し活動することで若人らしさを発揮してもらい、そして最終日のテーマ討議としては、私どもが青少年男女に考えて欲しかった「勇気とは何か？」を取り上げることにさせて頂きました。

こうした一連のプログラムを構成いたしましたのは、やがて将来を担う若人達に、今こそ広い視野を持ち自分自身を「培育」して自己形成して頂きたいという願いからでありまた、変化変貌する社会環境の中でその存在に悩み迷った時にも、「勇気」を持ち行動して欲しいと望むからであります。

その生涯において、客観的なる自己認識に努め、自己再発見と自己改革の初心を忘れず、対応する社会をより良き社会として形成、発展させてゆくために、この若き世代が個人としても、また、その世代としても「勇気」を持ち決断し、前進して欲しいと私どもは希求するからであります。

3日目、テーマ討議の発表では、朝から1時間半の討議内容の整理、まとめの後に、各班のリーダーの進行による「勇気」についての発表が行われました。発表内容を大きな模造紙にカラフルに示しての、各班それぞれの視点からの「勇気」についての発表が続き全員でユーモアも交えながら明るく、また、真剣に発表するその態度や短時間のうちに熟考されたその内容を聴き、若者の純真で真摯なエネルギーを感じつつ、ロータリアン全員も聞き入ってしまう程の発表の場となりました。

有賀地区委員会副委員長の適切、丁寧なテーマ討議のご講評を頂いた後、閉講式に移り、酒井海洋センター副所長のご挨拶、板垣地区委員会委員長の全体的なご講評を終え、参加青年男女一人ひとりにRYLA修了証書を授与し、若人達もロータリアンも全員で会場一杯の大きな輪になり「手に手つないで」を大合唱して、今年度の「海のRYLA」を無事終了させて頂きました。

海洋センターから家路につく若人達を見送りながら、私どもは多少の疲れを感じながらも、ホストとして本当に爽やかな気分で終えることができました今年度の「海のRYLA」でございました。

最後になりましたが、大変にお世話になりました地区役員、地区委員会をはじめ各ロータリークラブの皆様、また、現地スタッフの皆様方、誠に有難うございました。

厚く御礼申し上げますと共に、心より感謝申し上げます。

今回の体験は、ホストクラブといたしましても貴重な経験でございました。

私ども会員一同、是非にもこの体験を今後のロータリー活動への糧として活かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

ここに、充実感と安堵感を感じつつ、この後書きを終えさせて頂きます。

